

「保健所における HIV 検査・相談の現状評価と課題解決に向けての研究」

研究分担者：土屋菜歩（東北大学東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門）

研究協力者：佐野貴子、近藤真規子（神奈川県衛生研究所微生物部）、今井光信（田園調布学園大学）、須藤弘二、加藤真吾（慶應義塾大学医学部微生物部・免疫学教室）、貞升健志（東京都健康安全研究センター微生物部）、川畑拓也（地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 微生物部ウイルス課）、大木幸子（杏林大学保健学部）、生島嗣（特定非営利活動法人ぷれいす東京）、堅多敦子、根岸潤（東京都福祉保健局）、城所敏英（東京都南新宿検査・相談室）、カエベタ亜矢（新宿区保健所）、関なおみ（池袋保健所）、今村顕史（がん・感染症センター 都立駒込病院）

研究要旨

保健所等検査施設における HIV 抗体検査の陽性件数はエイズ動向委員会の報告数の約 45%に相当しており、HIV 陽性者同定に重要な役割を担っている。本研究は、保健所・検査所における HIV 検査の現状と課題を把握し解決策を検討することを目的とし、1. 全国の保健所等を対象とした HIV および梅毒検査相談体制に関するアンケート調査、2. 「保健所等における HIV 即日検査のガイドライン」の改訂、3. HIV 検査と併せた梅毒検査受検勧奨と予防啓発の実装、を行った。

平成 28 年度は東京都内の保健所とその支所等の施設、特設検査施設を対象とし、梅毒検査の実施状況に関するアンケート調査を郵送法により実施した。回収率は 97.2% (35/36 施設) であり、35 施設中 30 施設 (86.7%) で HIV 検査と同時に梅毒検査を実施していた。RPR 法と TPHA/TPLA 法による検査を同時に実施している施設が 19 施設 (63%) であった。2013 - 2015 年の 3 年間の HIV 検査結果別の梅毒陽性率 (TPHA/TPLA 法による) は、HIV 陰性者で約 3%、HIV 陽性者で約 30%であった。HIV 陽性者における梅毒陽性率は明らかな変化を認めなかった一方で、HIV 陰性者における梅毒陽性者数および陽性率は上昇していた。

平成 29-30 年度には、全国の保健所等施設、特設検査相談施設を対象とした HIV および梅毒検査相談体制に関するアンケート調査を郵送法により実施した。平成 29 年度は保健所等 562 施設中 491 施設 (回収率 87%)、特設検査相談施設 22 施設中 21 施設 (回収率 95.5%)、平成 30 年度は保健所 566 施設中 478 施設 (回収率 85%)、特設検査相談施設 (特設) 24 施設中 21 施設 (回収率 88%) から回答を得た。1 年間に保健所で行った HIV 検査の総数 (うち陽性件数と陽性率) は平成 29 年 85,965 件 (239 件、0.28%)、平成 30 年 86,144 件 (197 件、0.23%) であった。特設における HIV 検査の総数 (うち陽性件数と陽性率) は平成 29 年 25,034 件 (130 件、0.5%)、平成 30 年 31,825 件 (129 件、0.4%) であった。検査結果を受け取りに来なかった受験者数は、保健所では平成 29 年 1,753 件 (2.0%) 平成 30 年 2,011 件 (2.0%)、特設においては平成 29 年 471 件 (1.9%) 平成 30 年 609 件 (1.9%) であった。ブロック別の集計では、HIV 検査件数は平成 29 年、平成 30 年度とも関東甲信越が最も多く、陽性率は九州が最も高かった (平成 29 年 : 0.38%、平成 30 年 : 0.31%)。梅毒検査について、平成 29 年は保健所の 80%、特設の 52%、平成 30 年は保健所の 86.8%、特設の 57% で実施しており実施施設が増加していた。平成 29 年、平成 30 年の梅毒検査陽性率は保健所で 1.9%、2.2%、特設で 5.3%、3.0% であった。自由記載では、課題として検査・相談体制維持やハイリスク層へのアウトリーチの困難さ、外国籍者への対応などが挙げられた。

アンケート調査で得られた現状と課題を反映した改訂ガイドラインを完成させ、流行が続いている梅毒について HIV 検査と併せた梅毒予防啓発の提案と実装に結びつけることができた。

A.研究目的

HIV/エイズ対策において、早期治療による患者の予後改善、二次感染の予防には早期診断が不可欠であるが、我が国の新規発生報告件数に占めるAIDS患者の割合は依然として30%前後で推移している。保健所等検査施設におけるHIV抗体検査の陽性件数はエイズ動向委員会の報告数の約45%に相当しており、HIV陽性者同定に重要な役割を担っている。また、急増している梅毒を含む性感染症の同時検査は、HIVと併せたスクリーニング、予防啓発の機会となり得る。保健所・検査所における検査の質の向上、地域や受検者の特性に合わせた検査・相談体制の構築が必要とされている。

そこで、本分担研究班は以下を研究目的とした。

1. 全国の保健所等を対象にHIVおよび梅毒検査相談の実施状況と課題を明らかにする
2. 「保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン」の改訂を行う
3. HIV検査と併せた梅毒検査受検勧奨、予防啓発の立案と実装

B.研究方法

1. 「保健所・検査所におけるHIV検査・相談体制に関するアンケート」、「保健所・検査所における梅毒検査に関するアンケート」調査

H28年度は、東京都区内の保健所・検査所を対象とした情報収集およびアンケート調査を行った。H28年度中の複数回にわたり、行政に詳しい研究協力者と都内保健所・検査所でHIV相談・検査業務に携わっているスタッフ（保健師、検査技師、看護師、医療通訳ボランティアなど）から現状と課題についての聞き取り、ディスカッションを行った。加えて、H28年12月に東京都内保健所・検査所を対象としたアンケート調査を行った。HIV検査と併せた梅毒検査実施の有無、検査方法、委託先、検査結果の伝え方、H25-27年度のHIV検査陰性/陽性別のTPHA/TPLA法陽性者数を尋ねた。

平成29-30年度には、全国の保健所およびその支所等（以下保健所）のHIV検査相談施設と南新宿HIV検査相談施設等の特設HIV検査相談施設（以下特設）を対象に、平成30年1月と平成31年1月にHIV検査相談および梅毒検査の実施体制（それぞれH29年1-12月とH30年1-12月の状況）に関するアンケート調査を行った。これらのアンケート調査は、昨年度も実施していた質問の内容を踏襲し、昨年度までの調査の結果や学会、研修会等でも収集した情報に基づいて一部の質問項目の見直しを行い実施した。昨年度に引き続き、ブロック別の検査数および陽性率についての集計・解析も行った。

2. 「保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン」の改訂

「保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン」は、保健所等においてHIV即日検査を導入・実施する際の指針として、即日検査の内容、準備すべき事項や注意点等の概要を提示することで受験者によりよい検査・相談サービスを提供できるように促進することを目的にH16年に第1版が作成され、H24年に第3版が発行されている。

H29年度に分担研究班内で第4版への改訂のポイントを整理したのち、担当者を決定し改訂を開始した。H30年度にも継続的に議論を行いながら改訂版を作成した。改訂版ではHIV/エイズの治療と予防に関する最新の知見を掲載し、検査方法に関する情報を更新した。また、近年の流行に伴い検査実施施設が増加している梅毒に関する情報、相談や支援に役立つリンク集を追加した。

3. 梅毒啓発資料の作成・配布

梅毒の報告者数増加に伴い、HIV検査・相談の場においてもHIVと併せた梅毒啓発が必要である。従来の啓発資料は広く一般向けまたはMSM向けのものがほとんどであったことから、H28年度に若年女性用、H29年度にはMSMを含む一般男性用、H30年度には若年女性用第2版の梅毒啓発資料を作成した。新宿区保健所保健予防課、台東保健所保健予防課の協力を得た。

C.研究結果

1. 「保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関するアンケート」、「保健所・検査所における梅毒検査に関するアンケート」調査

1) 「保健所・検査所における HIV 検査・相談体制に関するアンケート」調査

H29 年度と H30 年度に全国の保健所・検査所を対象として実施したアンケート調査の結果をおもて資料 1、2 に示す。アンケートの回収率は保健所で H29 年度 87%、H30 年度 85%、特設で H29 年度 95.5%、H30 年度 88% と高く、全体像を把握するのに十分なものであった。

①HIV 相談・検査の実施体制

HIV 検査の実施体制については、保健所では即日検査を実施している施設が H29 年、H30 年とも約 70% を占めていた。特設においては 76% が即日検査のみ実施していた。即日検査は予約制、通常検査は予約なしで実施している施設の割合が高く、スクリーニング検査が陽性だった場合、確認検査は他施設に依頼すると回答した施設が即日検査でも通常検査でも 60% を超えていた。平日夜間の検査を実施している施設は H29 年で 35.1%、H30 年で 22.4%、土日の検査を実施している施設は H29 年で 12.4%、H30 年で 9.9% と減少傾向であった。

②HIV 検査の件数及び陽性数の現状

HIV 検査・相談を実施している保健所における HIV 検査実施件数（陽性数、陽性率）は H29 年 85,965 件（239 件、0.28%）、H30 年 86,144 件（197 件、0.23%）であった。陽性例の報告があった施設は、H29 年 113 施設（23.1%）、H30 年 103 施設（22%）であった。特設においては、HIV 検査実施件数（陽性数、陽性率）は H29 年 25,034 件（130 件、0.5%）、H30 年 31,825 件（129 件、0.4%）であった。

③年間検査件数別保健所数およびその陽性率

保健所においては、H29 年、H30 年とも年間検査数が 50 件未満の施設が全体の約 40% を占めており。そこでの陽性率は H29 年 0.19%、H30 年

0.14% と全体の陽性率と比較すると低かった。陽性率が最も高かったのは、H29 年は年間検査数 1000 件以上の施設の 0.37%（79/21,324 件）、H30 年は年間検査数 500-999 件の施設で 0.29%

（52/17,823 件）であった。一方、特設で最も陽性率が高かったのは、H29 年は年間検査数 1000 件以上の施設で 0.54%（108/19,875）、H30 年は年間検査数 100-199 件の施設で 0.59%（3/508）であった。年間件数の少ない施設であっても陽性例があることが明らかになった。

④ブロック別の HIV 検査件数と陽性率

ブロック別の集計を資料 3 に示す。ブロック別の集計では、HIV 検査数は関東甲信越ブロックで最も多く（H29 年 30,562 件、H30 年 28,846 件）、陽性件数も最多であった（H29 年 102 件、H30 年 77 件）。保健所での HIV 検査陽性率をブロック別に比較すると、2 年続けて九州が最も高く H29 年 0.38%（45/11,860 件）、H30 年 0.31%（38/12,237 件）、次いで関東甲信越、次いで H29 年近畿、H30 年東海の順であった。

⑤HIV 検査以外の性感染症検査について

HIV 検査以外の性感染症検査を同時に行っていると回答した保健所は、H29 年で 477 施設中 452 施設（94.8%）、H30 年で 490 施設中 457 施設（93.3%）であった。同時に行っている検査で最も多かったのは梅毒検査（H29 年 86%、H30 年 90.5%）であった。特設においては H29 年で 13 施設（61.9%）、H30 年は 12 施設（57.1%）で他の性感染症検査を行っており、梅毒検査はそれらすべての施設で行っていた。

⑥HIV 検査結果の受け取り状況

保健所での検査結果を受け取りに来なかった受験者数は、H29 年で 85,965 件中 1,753 件（2.0%）、H30 年は 86,144 件中 2,011 件（2.0%）であった。検査結果別に見ると、陰性の場合 H29 年で 2.0%（2,733/85,726 件）、H30 年で 2.3%（1,990/85,947 件）、陽性の場合 H29 年で 8.4%（20/239 件）、H30 年は 10.7%（21/197 件）が結果を受け取っていなかった。即日検査と通常検査を比較すると、

陰性の結果の場合、通常検査のみの保健所等施設では結果を受け取りに来ない者の割合が高かったが、陽性の場合、即日検査のみの施設の方が結果を受け取らない者の割合が高かった。

一方、特設においては、検査結果を受け取りに来なかった受験者数は、H29年で全検査数 25,034 件中 471 件 (1.9%)、H30年で 31,825 件中 609 件 (1.9%) であった。陰性の場合、H29年で 1.8% (458/24,904 件)、H30年で 1.9% (597/31,696 件)、陽性の場合 H29年で 10.0% (13/130 件)、H30年で 9.3% (12/129 件) が結果を受け取っていないなかった。即日検査と通常検査での比較では、保健所等施設と同じく結果を受け取りに来ない者の割合は陰性の場合通常検査のみの施設で高く、陽性の場合迅速検査のみの施設で高かった。迅速検査を実施している施設においても、検査結果を受け取っていない陽性者がいることが明らかになった。

⑦陽性者の医療機関受診把握について

陽性者が医療機関を受診したかどうか把握するための仕組みがあると回答した保健所等施設の割合は H29年、H30年とも約 62%であり、陽性例の経験がある保健所の方がその割合は高かった (H29年 79.6%、H30年 85.4%)。陽性結果を受け取った受験者のうち、医療機関を受診したことが分かっている陽性者の割合は、H29年で 80.8%、H30年は 86.3%であった。

特設においては、HIV 検査陽性で陽性結果を受け取った受験者の医療機関受診が確認できている事例は H29年 81%、H30年は 72.6%であった。

⑧受検者について把握している内容

保健所において、性別については 95%以上、受検動機、感染機会の時期については 85%以上の施設で把握されていた。受検経験や感染リスク、情報源について把握している施設は 80%弱であった。検査についての情報源は 70%前後の施設で把握されていた。居住地域や性的指向については約半数の施設で把握されていた。特設においては上記の情報を把握している割合がより高い傾向に

あり、H30年では性別は 100%、受検経験、性的指向は 90%以上で把握されていた。受検動機や感染リスク、感染機会の時期は 80%以上で把握されていた。受検者の情報を把握するための質問票はほとんどの施設で利用されていた。

⑨結果説明について

保健所において、迅速陽性の場合 H29年は 83.7%、H30年は 87.9%、確認陽性の場合 H29年は 99.1%、H30年は 99.3%の施設で医師が検査結果説明担当者となっていた。陰性の場合には保健師が結果説明を行うという回答が多かった。特設検査相談施設においては、陰性例でも 75%以上で医師が検査結果説明担当者となっていた。

スクリーニング検査で陰性時に検査結果の説明は口頭のみで行うと回答した保健所の割合は H29年で 42.9%、H30年は 52.8%、特設では H29年、H30年とも 38.1%であった。陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣の経験ありと回答した保健所等施設の割合は H29年で 14.5%、H30年は 17.4%、経験はないが可能と回答した施設の割合は H29年、H30年とも約 36%であった。特設においては、H29年は 38.1%、H29年は、H30年は 57.1%の施設で派遣経験があり、経験はないが派遣可能と回答した施設の割合は H29年で 28.6%、H30年は 19.0%であった。

⑩血液曝露事故が受検動機の受検者について

血液曝露事故が受検動機の受検者がいたと回答した施設の割合は、保健所では H29年 30.4%、H30年 34.4%、特設では H29年 42.9%、H30年 38.1%であった。H30年の調査でそのうちわけを尋ねたところ、保健所、特設ともに医療職という回答が最も多く、保健所では福祉職、清掃業、美容業における血液曝露が受検動機という回答もあった。

⑪日本語のわからない外国籍の人の受検

日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがあると回答した施設の割合は保健所で約 36%であった。特設では H29年は 33.3%、H30年には 66.7%とその割合は増加していた。

対応言語は英語が最も多く、次いでポルトガル語やスペイン語が多かった。H30年度の調査では、保健所で英語に次ぐ対応言語として中国語、韓国語の割合が多くなっていた。対応方法としては外国語問診票・説明書によるものが最も多く、通訳依頼がその次に多かった。

⑫課題

自由記載で HIV 検査相談の課題について尋ねた。複数の施設から挙げた課題として、受検者数（特に若年層）の減少、予算や人員の不足による体制維持の難しさ（十分な時間がとれない、検査のみでカウンセリングや相談ができない、スペースの問題でプライバシーの確保が難しい）、MSM 等ハイリスク層への周知方法、リピーター受検者への対応、日本語を話せない外国籍者への対応、結果を受け取りに来ない受検者への対応があった。陽性例経験の少ない保健所からは、陽性例への対応経験が少ないことに対する不安も挙げられた。ウェブサイト予約を導入した施設からは、無断キャンセルの問題も挙げられた。

2) 「保健所・検査所における HIV 梅毒検査・体制に関するアンケート」調査

東京都内保健所・検査所におけるアンケート調査

H28年度に実施した東京都内保健所・検査所を対象としたアンケート調査において、36施設中35か所（97.2%）から回答を得た。

①梅毒検査の実施状況

HIV 検査・相談と梅毒検査を定例検査で同時実施している施設は、35施設中27施設（77.1%）であった。3施設は6,12月などイベント時のみ実施しており、5施設は実施していなかった。同時検査を実施していない理由として、HIV 検査が迅速検査であるため（梅毒検査と同時実施できない）、予算確保が困難、人員確保が困難、との回答があったが、現在実施していない5施設のうち3施設は「今後実施予定」と回答した。

②梅毒検査の検査方法

①で検査を実施していると回答した30施設の

うち、RPR 法と TPHA/TPLA 法による検査を同時に実施している施設は19施設（63%）、LA 法または RPR 法による検査で陽性だった場合のみ TPHA/TPLA 法を追加で実施すると回答した施設は11施設（37%）であった。RPR 法のみ、TPHA/TPLA 法のみ実施していると回答した施設はなかった。

③検査委託機関

検査を実施している30施設のうち、検査を東京都健康安全研究センターに委託している施設は15施設（50.0%）、民間会社に委託している施設は13施設（43.3%）、その他および不明と回答した施設（委託せず自施設で実施を含む）が1施設ずつであった。

④梅毒検査結果の伝え方

HIV 検査結果と同日に予約を取って伝えていると回答した施設は30施設中24施設（80.0%）、HIV 検査結果と別日に予約を取って伝えていると回答した施設は3施設（10%）、HIV 検査結果と別日に予約を取らずに伝えていると回答した施設が3施設（10%）であった。

⑤HIV 陽性/陰性別梅毒陽性者数および陽性率

検査方法に関わらず、梅毒検査を実施している30施設すべてを対象とした場合、H25-27年を通しての HIV 陰性者数の梅毒陽性率（TPHA 陽性率）は3.5%、HIV 陽性者数の梅毒陽性率は32.4%であった。RPR 法または LA 法と TPHA/TPLA 法を同時に実施していると回答した19施設に限ってみると、H25-27年を通しての HIV 陰性者数の梅毒陽性率（TPHA 陽性率）は3.6%、HIV 陽性者数の梅毒陽性率は31.8%であった。

どちらの集計においても、HIV 陽性者における梅毒陽性率は年度による明らかな変化、傾向を認めなかったが、HIV 陰性者における梅毒陽性者数および陽性率はいずれも上昇していた。

全国の保健所・検査所におけるアンケート調査

H29-30年度に実施した梅毒検査体制に関するアンケート調査結果を資料4、5に示す。

①梅毒検査実施率

アンケートを回収できた施設のうち、保健所では H29 年で 80%、H30 年で 86.8%、特設では H29 年で 52.4%、H30 年は 57.1%が梅毒検査を実施しており、梅毒検査を実施している施設の割合は増加していた。

②梅毒検査の実施形態

HIV 検査と一緒にのみ梅毒検査が受けられる施設と、梅毒検査単独でも受けられる施設が混在していた。特設では梅毒検査を実施している施設すべてにおいて梅毒検査は無料だったが、保健所等においては梅毒検査無料の施設の割合が H29 年の約半数から H30 年には 85.5%と大幅に増加していた。有料の場合に受検者が負担する金額は 500～2000 円と施設により異なっていた。保健所等では通常検査のみで梅毒検査を実施している施設が H29、30 年とも約 70%であり、検査結果の返却時期は 2 日～1 週間後が最も多かった。特設では通常検査で梅毒検査を実施している施設の割合が H29 年 54.5%、H30 年 41.7%、即日検査での実施、結果返却が H29 年は 45.5%、H30 年で 50%であった。

③梅毒検査の方法

通常検査で梅毒検査を実施している保健所では、STS 法と TP 抗体検査を同時に実施している施設の割合が H29 年で 70.5%、H30 年で 79.6%であった。特設では、通常検査を実施している施設でも TP 抗体陽性だった場合に STS 法を追加と回答した施設が H29 年で 36.4%、H30 年では半数見られた。梅毒検査を即日検査で実施している保健所では、STS 法と TP 抗体検査を同時に実施している施設が半数以上であり、次いで多いのは TP 抗体検査のみ実施であった。STS 法のみ実施、STS 法で陽性だった場合 TP 抗体検査を追加実施、という保健所もあった。

使用している検査試薬は STS 法では RPR カードテストが H29 年で 70%、H30 年では 85%以上と多く、TP 抗体法では TPHA 法を採用している施設が最多であった。

④梅毒検査陽性者数

H29 年度は H29 年 1 月～12 月、H30 年度は H30 年 1 月～12 月の梅毒検査陽性者数、陽性者数を尋ねた (HIV 検査結果による層別化した回答は依頼せず)。梅毒検査を実施している保健所において、検査陽性の数と陽性率は H29 年で全体の検査数 59,104 中 1,151 件 (1.9%)、H30 年度は 64,965 件中 1,435 件 (2.2%) であった。陽性例を検査方法別に見ると、STS 法での陽性は H29 年 639 件 (1.3%)、H30 年 752 件 (1.6%)、TP 抗体法での陽性は H29 年 1,211 件 (2.7%)、H30 年 1,494 件 (3.1%) であった。

特設における検査陽性数と陽性率は、H29 年は全体の検査数 12,611 件中 671 件 (5.3%)、H30 年で 24,436 件中 724 件 (3.0%) であった。陽性例を検査方法別に見ると、STS 法での陽性は H29 年 566 件 (6.1%)、H30 年 320 件 (5.4%)、TP 抗体法での陽性は H29 年 611 件 (10.9%) H30 年 973 件 (5.0%) であった。

⑤梅毒検査陽性者への対応

梅毒陽性となった受検者への対応としては、保健所等施設、特設検査相談施設どちらも受診干渉が 70-80%と最も多く、次に医療機関の紹介、紹介状の発行が多かった。

⑥課題

自由記載で梅毒検査の課題を尋ねた。課題として、ガイドラインがないこと、啓発資料の不足、梅毒検査 (通常) と HIV 検査 (迅速) の結果返却等のタイミングが合わない、ハイリスク層への周知、治療中の人々が効果判定のために受検する、日本語の話せない外国籍者への対応等が挙げられた。

2. 「保健所等における HIV 即日検査のガイドライン」の改訂

第 3 版までのガイドラインでは、即日検査の導入・普及に目的が置かれていた。今回の改訂では、即日検査が普及してきた現在、即日検査をより効果的に実施し予防対策につなげる上で必要な情報を更新、拡充することを目的とした。検査、臨

床、公衆衛生の専門家に加え、検査・相談をする保健所や特設検査所、相談や支援に関わる NGO からも研究協力者を迎え、改訂を行った。検査方法・アルゴリズムの変更を反映した更新、郵送検査との関わりについての記載、パートナー検査やリピーター受検者への対応の記載、PrEP、TasP や U=U など新しい概念の説明の記載追加を行った。また、近年の流行に伴い検査実施施設が増加している梅毒について、検査方法を含む詳細な情報も掲載した。また、現場のスタッフおよび受検者が利用しやすい相談や支援に役立つリンク集を追加した。

3. 梅毒啓発資料の作成・配布

20~40 代の女性で梅毒の報告者数が急増していることから、HIV 検査・相談の場においても HIV と併せた梅毒啓発が必要である。H28 年度は新宿区保健所保健予防課の協力を得て、若年女性向けの梅毒啓発資料 30,000 部を作成した。梅毒流行のデータを示すとともに、梅毒に関する基礎知識、予防方法、検査の重要性を記載した。持ち歩きしやすく、人前でも気後れせずに手に取れるような装丁を工夫した。

平成 29 年度は、新宿区保健所、台東区保健所の協力を得て、女性向けの冊子とサイズを合わせた男性用啓発冊子を 30,000 部作成した。さらに、H30 年度は女性向け冊子の内容を更新し、女性向け梅毒啓発資料第 2 版 30,000 部を作成した。HIV 検査・相談マップ、東京都保健福祉局のウェブサイトに掲載し、関連の学会等で広く周知した。自治体の検査担当者、診療に携わる医師向けの研修会、研究会等で配布・使用した。保健所・検査所のみならず大学や職域での研修など、通年全国各所から提供依頼や問い合わせがあり、現場の関心やニーズの高さが明らかになった。ウェブサイトや学会などを通じて広く周知、配布し、現場に実装することができた。

D. 考察

1. HIV 検査・相談体制について

エイズ動向委員会の報告によると、2017 年の保健所等での HIV 抗体検査件数は、123,432 件（前年 118,005 件）で、相談件数は 123,768 件（前年 119,378 件）であった。検査件数は 2008 年の 177,156 件をピークとして減少し、約 12 万件前後で推移している。保健所等検査施設における HIV 抗体検査の陽性件数はエイズ動向委員会の報告数の約 45% に相当しており、保健所・検査所における検査が HIV 陽性者同定に重要な役割を担っていると言える。本分担研究班では、保健所等施設における HIV 検査・相談の現状と課題を明らかにし、実装を目指した対策の立案を行うことを目的とした。

H28 年度にまず行った東京都内の HIV 検査・相談担当者、通訳者への聞き取り調査では、ターゲットを明確にした受検勧奨の必要性、受検者の属性やニーズ把握の必要性、外国人対応の課題、などが挙げられたが、喫緊の課題として、梅毒の流行・急増が明らかになった。

H29 年度、H30 年度に実施した全国の保健所、特設を対象とした HIV 検査・相談体制に関するアンケート調査では、85% を超える施設から回答を得た。保健所における HIV 検査の総数（回答があった施設からの合計）は H29 年 85,965 件、H30 年 86,144 件と横ばいであった。保健所における HIV 検査陽性率は H29 年の 0.28% (239 件) に比し H30 年で 0.23% (197 件) とわずかに低かった。特設における HIV 検査の総数（回答があった施設からの合計）は H29 年 25,034 件、H30 年 31,825 件と件数で見ると増加していた。回答を得られた特設の施設数は同じであったが、特設はもともと施設数が少ないため、回答した施設の規模により検査件数の合計が異なった可能性もある。特設における HIV 検査陽性率は、H29 年の 0.5% (130 件) から H30 年の 0.4% (129 件) と 0.1% 減少していた。

ブロック別の集計では九州ブロックの陽性率

が高かった。エイズ動向委員会の報告とも合致する傾向であり、ハイリスク層の移動（ツーリズム）、居住地以外で検査を受ける者も増えている可能性などが考えられる。ブロック別集計は今後も重要であり、検査件数や陽性率の推移把握と背景についての多面的な検討が必要であるとする。

HIV 感染症以外の性感染症の検査については、ほぼすべての保健所が実施しており、実施している性感染症の検査は梅毒が最も多かった。HIV 感染症と他の性感染症は相互に感染のリスクとなり得るため、HIV 検査・相談の機会を他の性感染症も合わせた予防啓発の機会として活用することが有効であると考えられる。検査・相談の中で受検者の性的指向や感染のリスクを把握し、その人に合わせた予防対策を一緒に考えることも必要であろう。

検査を受けたにも関わらず、即日検査ですら結果を受け取っていない受検者がおり、しかも陽性例においてその割合が高いこと、陽性判明後の医療機関受診が把握できていない者もおりその割合が上昇していることが大きな問題である。今後は検査結果を受け取らないでしまう理由や背景の探索なども行い、検査→診断→医療機関受診のカスケードから感染者が脱落しないような体制づくりが必要である。

HIV 検査・相談の課題として、受検者数（特に若年層）の減少、予算や人員の不足による体制維持の難しさ、MSM 等ハイリスク層への周知方法の難しさ、リピーター受検者への対応、日本語を話せない外国籍者への対応などがどの年度も挙げられていた。その結果を受け、さまざまな受検者・事例への対応ポイント、や施設の規模に合わせた相談・検査の実施例などを本研究で作成した改訂版ガイドラインに掲載した。ハイリスク層への周知方法、日本語を話せない外国籍者への対応などは、施設ごとの対応のみに委ねることは難しい。NGO/NPO やコミュニティとの連携、他部署や他施設との情報・意見交換などが有用であろう。

2. 梅毒検査体制について

H28 年度に行った都内保健所の聞き取り調査において、梅毒の急増と流行が喫緊の課題として挙げられたことから、同年度に東京都内保健所・検査所対象の梅毒検査実施状況に関するアンケート調査を実施した。回答を得られた 35 か所のうち 30 か所（86.7%）で HIV 検査と同時に梅毒検査を実施しており、2013 - 2015 年の 3 年間の HIV 検査結果別の梅毒陽性率（TPHA 陽性率）を見ると、HIV 陰性者数の梅毒陽性率は約 3%、HIV 陽性者数の梅毒陽性率は約 30%であった。3 年間で HIV 陰性者における梅毒陽性者数および陽性率が上昇していることから、保健所における HIV 検査・相談の場が梅毒検査の重要性が明らかになった。

梅毒検査での陽性率は、保健所で H29 年 1.9%、H30 年 2.3%、特設で H29 年 5.3%、H30 年 3.0%であり、保健所検査における陽性率は増加しており、厚労省の報告による陽性例増加を裏付ける結果であった。ただし、梅毒検査の方法や使用している試薬は施設により異なっており、治癒例（過去の既往）も含まれている可能性があるため、陽性率の評価、解釈には注意が必要である。

梅毒は HIV と感染経路を共有し、HIV 感染のリスクも高めるため、梅毒感染者は検査時点で HIV 陰性であっても、今後 HIV 陽性に転じる可能性がある。厚生労働省の報告から、現在の梅毒流行においては異性間性交渉による感染の増加が明らかであり、異性間性交渉を行う層にも広く梅毒の予防・啓発が必要となっている。一方、HIV 検査・相談施設に梅毒検査を希望して来所する受検者が増加することで、MSM などこれまで HIV/エイズ対策の中心であった層が検査・相談にアクセスしにくくなったりしないよう注意が必要である。保健所での梅毒検査には、HIV 検査と同時に実施している梅毒検査での梅毒陽性率を見ることで、保健所・検査所を HIV 感染のハイリスク層が受検しているかどうか、いわば保健所・検査所検査の質、を間接的に評価できるという側面もある。

梅毒検査を実施する保健所等施設は確実に増えている。アンケート調査において、スタッフ用のマニュアル、啓発資料の不足が課題として現場から挙げたことから、本研究班で梅毒予防啓発冊子の作成・配布を行い、HIV 即日検査のガイドラインにも梅毒の詳細な情報を新たに記載した。

E. 結論

保健所と特設検査相談施設における HIV 検査・相談体制および梅毒検査体制についてのアンケート調査を行った。アンケート調査は非常に高い回収率であり、全国の HIV 検査・相談および梅毒検査の状況と課題を正確に把握することができた。

HIV 検査件数は保健所ではほぼ横ばい、特設で増加しており、陽性率は保健所で 0.23~0.28%、特設で 0.4~0.5%であった。ブロック別に陽性率を見ると、H29 年、H30 年とも九州で最も陽性率が高かった。検査を受けたのにも関わらず結果を受け取っていない受検者が HIV 陰性者で約 2%、陽性者で約 8~10%もいることが明らかとなった。梅毒検査件数、陽性数、陽性率はいずれも増加しており、HIV 検査・相談が梅毒発見の重要な機会でもあることが分かった。アンケート調査で明らかになった課題を踏まえ、即日検査ガイドラインの改訂、梅毒予防啓発冊子の作成など実装に結び付けることができた。

近年の郵送検査利用者の増加等に伴い、新しい HIV 検査・相談の体制作りを検討する必要性が高まっている。無料・匿名で対面による相談・検査ができ、医療機関の受診までつなげることができる保健所検査の長所を生かしながら、地域や受検者の特性、ニーズに合わせた検査機会が提供できる仕組み作りが望まれる。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- 1) 土屋菜歩、堅多敦子、稲垣智一ら：東京都内保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会. 東京、2017 年 11 月.
- 2) 今村顕史、福島一彰、堅多敦子ら. 梅毒啓発を利用した新たな HIV 受検勧奨法についての検討. 第 31 回日本エイズ学会学術集会・総会. 東京、2017 年 11 月.
- 3) 土屋菜歩、佐野貴子、近藤真規子、堅多敦子、石丸雄二、城所敏英、カエベタ亜矢、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、今井光信、今村顕史：保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、2018 年 12 月大阪市
- 4) 土屋菜歩、佐野貴子、近藤真規子、堅多敦子、石丸雄二、城所敏英、カエベタ亜矢、川畑拓也、貞柁健志、須藤弘二、加藤真吾、大木幸子、今井光信、今村顕史：保健所・検査所における HIV 検査・相談実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会、2018 年 12 月大阪市

G. 知的所有権の取得状況

なし

謝辞

忙しい中アンケート調査にご協力いただいた全国の保健所および特設検査相談施設の皆様、梅毒啓発資料作成に当たり多くのご助言をいただいた新宿区保健所保健予防課、台東保健所保健予防課の皆様に深く感謝申し上げます。

保健所における HIV 検査相談体制に関する調査（平成 29—30 年）

| | | |
|----------|-----------|------------------|
| | 2017 | 2018 |
| アンケート送付数 | 562 | 566 |
| 回収数 | 491 87.4% | 478 84.5% |

1. 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？

| | | | | |
|-------------|------|-------|-------------|--------------|
| | 2017 | n=491 | 2018 | n=478 |
| はい | 490 | 99.8% | 477 | 99.8% |
| いいえ（電話相談のみ） | 1 | 0.2% | 1 | 0.2% |

2. HIV検査実績について

① HIV検査件数

| | | | | |
|-------|--------|-------|---------------|--------------|
| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
| 検査数 | 85,965 | | 86,144 | |
| うち陽性数 | 239 | | 197 | |
| 陽性率 | 0.28% | | 0.23% | |

陽性経験数

| | | | | |
|-------------|------|-------|-------------|--------------|
| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
| 陽性者があった保健所 | 113 | 23.1% | 103 | 21.6% |
| 陽性者がなかった保健所 | 377 | 76.9% | 374 | 78.4% |

年間検査件数別 保健所数・検査件数

| | 保健所数 | | | | 検査件数 | | | |
|-----------|------|-------|------------|--------------|--------|-------|---------------|--------------|
| | 2017 | | 2018 | | 2017 | | 2018 | |
| 全体 | 490 | | 477 | | 85,965 | | 86,144 | |
| 50件未満 | 201 | 41.0% | 194 | 40.7% | 4,215 | 4.9% | 4,181 | 4.9% |
| 50-99件 | 84 | 17.1% | 90 | 18.9% | 6,069 | 7.1% | 6,485 | 7.5% |
| 100-199件 | 83 | 16.9% | 80 | 16.8% | 11,726 | 13.6% | 11,398 | 13.2% |
| 200-499件 | 83 | 16.9% | 73 | 15.3% | 25,357 | 29.5% | 22,031 | 25.6% |
| 500-999件 | 26 | 5.3% | 26 | 5.5% | 17,274 | 20.1% | 17,823 | 20.7% |
| 1000件以上 | 13 | 2.7% | 14 | 2.9% | 21,324 | 24.8% | 24,226 | 28.1% |

年間検査件数別陽性数・陽性率・陽性経験数

| | 陽性数（陽性率） | | 陽性経験率 | | 陽性経験数 | | | |
|-----------|----------|---------|------------|----------------|-------|--------------|-----|------------|
| | 2017 | 2018 | 2017 | 2018 | 2017 | 2018 | | |
| 全体 | 239 | (0.28%) | 197 | (0.23%) | 23.1% | 21.6% | 113 | 103 |
| 50件未満 | 8 | (0.19%) | 6 | (0.14%) | 3.0% | 3.1% | 6 | 6 |
| 50-99件 | 18 | (0.30%) | 9 | (0.14%) | 19.0% | 10.0% | 16 | 9 |
| 100-199件 | 26 | (0.22%) | 19 | (0.17%) | 25.3% | 21.3% | 21 | 17 |
| 200-499件 | 59 | (0.23%) | 56 | (0.25%) | 44.6% | 54.8% | 37 | 40 |
| 500-999件 | 49 | (0.28%) | 52 | (0.29%) | 80.8% | 73.1% | 21 | 19 |
| 1000件以上 | 79 | (0.37%) | 55 | (0.23%) | 92.3% | 85.7% | 12 | 12 |

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数と%

| | 2017 | | | | 2018 | | | |
|-------------|--------|-------|-----|-------|---------------|--------------|------------|--------------|
| | 陰性 | | 陽性 | | 陰性 | | 陽性 | |
| 受検者数 | 85,965 | | | | 86,144 | | | |
| 結果を聞きに来た | 83,993 | 98.0% | 219 | 91.6% | 83,957 | 97.7% | 176 | 89.3% |
| 結果を聞きに来なかった | 1,733 | 2.0% | 20 | 8.4% | 1,990 | 2.3% | 21 | 10.7% |
| 合計 | 85,726 | | 239 | | 85,947 | | 197 | |

③ 発生届出を行った陽性者数

④ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数：

| | | | | |
|-------------------------|------|-------|-------------|--------------|
| | 2017 | n=239 | 2018 | n=197 |
| 発生届出を行った陽性者数 | 130 | 54.4% | 94 | 47.7% |
| 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数 | 177 | 80.8% | 152 | 86.4% |

⑤ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

| | 2017 | | | | 2018 | | | |
|-----|----------|-------|-------------|-------|------------|--------------|-------------|--------------|
| | 全体 n=490 | | 陽性経験施設n=113 | | 全体 n=477 | | 陽性経験施設n=103 | |
| ある | 305 | 62.2% | 90 | 79.6% | 296 | 62.1% | 88 | 85.4% |
| ない | 172 | 35.1% | 23 | 20.4% | 176 | 36.9% | 14 | 13.6% |
| 未記入 | 13 | 2.7% | 0 | 0.0% | 5 | 1.0% | 1 | 1.0% |

保健所における HIV 検査相談体制に関する調査（平成 29—30 年）

3. HIV検査・相談事業について

① HIV検査と同時にHIV以外の性感染症検査を行っていますか？

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|--------|------|-------|------|-------|
| 行っている | 457 | 93.3% | 452 | 94.8% |
| 行っていない | 33 | 6.7% | 25 | 5.2% |

「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目

複数回答

| | 2017 | n=457 | 2018 | n=452 |
|---------|------|-------|------|-------|
| 梅毒 | 393 | 86.0% | 409 | 90.5% |
| クラミジア抗体 | 132 | 28.9% | 107 | 23.7% |
| クラミジア抗原 | 156 | 34.1% | 152 | 33.6% |
| 淋菌 | 50 | 10.9% | 46 | 10.2% |
| B型肝炎 | 326 | 71.3% | 306 | 67.7% |
| C型肝炎 | 313 | 68.5% | 302 | 66.8% |
| HTLV-1 | 10 | 2.2% | 8 | 1.8% |

② HIV検査結果の連絡・受け渡しについて

H30年1月以降HIV/性感染症検査に関して誤った結果を通知したことはありましたか？

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|--------------|------|-------|------|-------|
| なかった | 489 | 99.8% | 474 | 99.4% |
| あった | 1 | 0.2% | 1 | 0.2% |
| ⇒HIVについてあった | 1 | 0.2% | 0 | 0.0% |
| ⇒STIIについてあった | 0 | 0.0% | 1 | 0.2% |

③ HIV検査成績の証明書を発行していますか？

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|-----------------|------|-------|------|-------|
| 発行していない | | | 290 | 60.8% |
| 発行している | | | 180 | 37.7% |
| （うち希望者のみ発行） | | | 13 | 2.7% |
| →料金は？ | | | | |
| 無料 | | | 73 | 40.6% |
| 有料 | | | 108 | 60.0% |
| 金額→ 500円未満 | | | 16 | 14.8% |
| 500～1,000円未満 | | | 29 | 26.9% |
| 1,000円～2,000円未満 | | | 39 | 36.1% |
| 2,000円以上 | | | 21 | 19.4% |
| 記名式ですか？ | | | | |
| →はい | | | 140 | 77.8% |
| →いいえ | | | 33 | 18.3% |

④ HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？（複数回答）

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|-----------------------|------|-------|------|-------|
| ない | 172 | 35.1% | 176 | 36.9% |
| ある | 305 | 62.2% | 296 | 62.1% |
| →紹介状の返信、 医療機関からの報告 | | | 248 | 83.8% |
| →受診医療機関に確認 | | | 19 | 6.4% |
| →同伴受診 | | | 19 | 6.4% |
| →本人の連絡先を把握 | | | 17 | 5.7% |
| →医療機関と受診調整を行う | | | 10 | 3.4% |

4. 検査実施体制について

① 検査・相談に関わる担当者用のマニュアルがありますか？

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|-----|------|-------|------|-------|
| ある | | | 438 | 91.8% |
| ない | | | 36 | 7.5% |
| 未記入 | | | 3 | 0.6% |

保健所における HIV 検査相談体制に関する調査（平成 29—30 年）

- ② 検査および感染予防等に関する相談を実施していますか？
 (※2017年の設問:感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっていますか？)

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|-------|------|-------|------|-------|
| していない | 20 | 4.1% | 1 | 0.2% |
| している | 463 | 94.5% | 476 | 99.8% |

対象者は？

| | 2017 | n=463 | 2018 | n=476 |
|--------|------|-------|------|-------|
| →全員に | 449 | 97.0% | 465 | 97.7% |
| →陽性者のみ | 2 | 0.4% | 3 | 0.6% |
| →陰性者のみ | 1 | 0.2% | 0 | 0.0% |
| →希望者に | - | - | 5 | 1.1% |

タイミングは？

複数回答

| | 2017 | n=463 | 2018 | n=476 |
|--------|------|-------|------|-------|
| 検査前に | 72 | 15.6% | 64 | 13.4% |
| 結果説明後に | 104 | 22.5% | 29 | 6.1% |
| 両方に | 293 | 63.3% | 391 | 82.1% |

具体的手法は？

複数回答

| | 2017 | n=463 | 2018 | n=476 |
|----------|------|-------|------|-------|
| 資料配布 | | | 290 | 60.9% |
| 医師対応 | | | 212 | 44.5% |
| 保健師対応 | | | 387 | 81.3% |
| カウンセラー対応 | | | 43 | 9.0% |
| その他職員対応 | | | 21 | 4.4% |
| NGOと連携 | | | 2 | 0.4% |
| 随時電話相談 | | | 3 | 0.6% |

- ③ 検査・相談に関わる担当者の研修や再教育の機会がありますか？

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|----|------|-------|------|-------|
| ある | 459 | 93.7% | 450 | 94.3% |
| ない | 29 | 5.9% | 26 | 5.5% |

5. 受検者に関する情報収集・対応状況等について

- ① 受検者について把握している内容に○を付けて下さい 複数回答あり

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|-----------|------|-------|------|-------|
| 性別 | 482 | 98.4% | 469 | 98.3% |
| 年齢 | 343 | 70.0% | 338 | 70.9% |
| 年代 | 212 | 43.3% | 219 | 45.9% |
| 居住地域 | 226 | 46.1% | 228 | 47.8% |
| 受検動機 | 420 | 85.7% | 418 | 87.6% |
| 受検経験 | 374 | 76.3% | 378 | 79.2% |
| 感染リスク | 355 | 72.4% | 359 | 75.3% |
| 性的指向 | 246 | 50.2% | 235 | 49.3% |
| 感染機会の時期 | 440 | 89.8% | 403 | 84.5% |
| 今回の検査の情報源 | 334 | 68.2% | 319 | 66.9% |
| その他 | 78 | 15.9% | 57 | 11.9% |

- ② 受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか？

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|---------|------|-------|------|-------|
| 用いていない | | | 45 | 9.4% |
| 用いている | | | 423 | 88.7% |
| →検査前 | | | 321 | 75.9% |
| →検査後 | | | 6 | 1.4% |
| →検査前後両方 | | | 59 | 13.9% |
| 未回答 | | | 37 | 8.7% |

保健所における HIV 検査相談体制に関する調査（平成 29—30 年）

③ 職務中の血液暴露事故が受検動機の受検者はいましたか？

| | 2017 n=490 | | 2018 n=477 | |
|---------------|------------|-------|------------|-------|
| わからない、把握していない | - | - | 89 | 18.7% |
| いない | 321 | 65.5% | 211 | 44.2% |
| いる | 149 | 30.4% | 164 | 34.4% |

| →職種 | 2017 | | 2018 | |
|-----------|------|-----|------|-----|
| | H28 | H29 | H29 | H30 |
| 医療職 | 33 | | 49 | 81 |
| 福祉職 | 10 | | 14 | 26 |
| 美容職 | | | 3 | 4 |
| 清掃業 | | | 10 | 8 |
| その他 | | | 27 | 38 |
| →人数 5名以下 | 73 | 86 | 86 | 141 |
| →人数 10名以下 | 4 | 6 | 6 | 6 |
| →人数 11名以上 | 7 | 8 | 3 | 2 |
| →人数不明 | | | 8 | 4 |

④ 中学生・高校生の検査希望者への対応はどのようにしていますか (n=2017)

| | 2017 n=490 | | 2018 n=477 | |
|------------------|------------|-------|------------|-------|
| 通常通り行う | 349 | 71.2% | 318 | 66.7% |
| 受け付けない | 6 | 1.2% | 4 | 0.8% |
| 検査・告知とも保護者同伴で受付 | 25 | 5.1% | 28 | 5.9% |
| 告知のみ保護者同伴で受付 | 19 | 3.9% | 19 | 4.0% |
| 保護者の同意を得られているか | 21 | 4.3% | 21 | 4.4% |
| 保護者同伴 | 7 | 1.4% | 7 | 1.5% |
| 陽性時(緊急時)は保護者に説明 | 26 | 5.3% | 44 | 9.2% |
| 中学生は保護者同伴か受け付けない | 4 | 0.8% | 14 | 2.9% |
| 状況に応じて | 14 | 2.9% | 21 | 4.4% |
| 事例なし | 4 | 0.8% | 15 | 3.1% |
| 未定 | 18 | 3.7% | 18 | 3.8% |

⑤ 日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？

| | 2017 n=490 | | 2018 n=477 | |
|---------------|------------|-------|------------|-------|
| ない | 300 | 61.2% | 300 | 62.9% |
| ある | 175 | 35.7% | 169 | 35.4% |
| 未記入 | 20 | 4.1% | 8 | 1.7% |
| ◆言語 | | | | |
| →英語 | 116 | 66.3% | 111 | 65.7% |
| →ポルトガル語 | 27 | 15.4% | 28 | 16.6% |
| →スペイン語 | 19 | 10.9% | 15 | 8.9% |
| →中国語 | 37 | 21.1% | 37 | 21.9% |
| →韓国語、朝鮮語 | 29 | 16.6% | 28 | 16.6% |
| →タガログ語、フィリピン語 | 17 | 9.7% | 10 | 5.9% |
| →タイ語 | 13 | 7.4% | 15 | 8.9% |
| →ベトナム語 | 1 | 0.6% | 1 | 0.6% |
| →ロシア語 | 5 | 2.9% | 5 | 3.0% |
| ◆方法 | | | | |
| 問診票、説明書 | 58 | 33.1% | 67 | 39.6% |
| パンフレット | 60 | 34.3% | 27 | 16.0% |
| 通訳依頼 | 21 | 12.0% | 33 | 19.5% |
| タブレット、通訳システム | 15 | 8.6% | 20 | 11.8% |
| 外国語対応できる人 | 14 | 8.0% | 11 | 6.5% |
| 日本語のわかる人同席 | 6 | 3.4% | 5 | 3.0% |

保健所における HIV 検査相談体制に関する調査（平成 29—30 年）

6. HIV検査の実施状況について教えて下さい(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)。

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。

| | | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|------------|----------------|------|-------|------|-------|
| 通常検査を行っている | | 255 | 52.0% | 255 | 53.5% |
| 即日検査を行っている | | 349 | 71.2% | 331 | 69.4% |
| 1 | 通常検査のみ | 141 | 28.8% | 146 | 30.6% |
| 2 | 即日検査のみ | 235 | 48.0% | 222 | 46.5% |
| 3 | 通常+即日 | 114 | 23.3% | 109 | 22.9% |
| A | 平日昼のみ検査 | 257 | 52.4% | 323 | 67.7% |
| B | 平日夜間検査 | 172 | 35.1% | 107 | 22.4% |
| C | 土日検査(祝日含む) | 61 | 12.4% | 47 | 9.9% |
| 1A | 通常のみ+平日昼のみ | 109 | 22.2% | 125 | 26.2% |
| 1B | 通常のみ+夜間も行っている | 30 | 6.1% | 20 | 4.2% |
| 1C | 通常+土日検査も | 2 | 0.4% | 1 | 0.2% |
| 2A | 即日のみ+平日昼のみ | 118 | 24.1% | 150 | 31.4% |
| 2B | 即日のみ+夜間も行っている | 92 | 18.8% | 55 | 11.5% |
| 2C | 即日+土日検査も | 25 | 5.1% | 17 | 3.6% |
| 3A | 通常+即日・平日昼のみ | 30 | 6.1% | 48 | 10.1% |
| 3B | 通常+即日・夜間も行っている | 50 | 10.2% | 32 | 6.7% |
| 3C | 通常+即日・土日検査も | 34 | 6.9% | 29 | 6.1% |

A 通常検査の場合

③ 予約制ですか？ 複数回答

| | 2017 | n=255 | 2018 | n=255 |
|-----|------|-------|------|-------|
| はい | 160 | 62.7% | 185 | 72.5% |
| いいえ | 97 | 38.0% | 106 | 41.6% |

④ 結果返しは？

| | 2017 | n=255 | 2018 | n=255 |
|-----------|------|-------|------|-------|
| 1週間後まで | 172 | 67.5% | 170 | 66.7% |
| 1週から2週間まで | 82 | 32.2% | 81 | 31.8% |
| 2週間以上 | | 0.0% | 2 | 0.8% |
| 未記入 | 1 | 0.4% | 2 | 0.8% |

⑤ スクリーニング検査 実施施設は？ 複数回答あり

| | 2017 | n=255 | 2018 | n=255 |
|-----|------|-------|------|-------|
| 自施設 | 36 | 14.1% | 55 | 21.6% |
| 他施設 | 221 | 86.7% | 199 | 78.0% |

⑥ 確認検査の方法は？ 複数回答

| | 2017(通常、即日共通) | 2018 |
|--------------------|---------------|------|
| WB法のみ | 119 | 79 |
| 2次スクリーニング+WB法 | 118 | 35 |
| WB法+NAT法 | 145 | 106 |
| 2次スクリーニング+WB法+NAT法 | 93 | 39 |
| その他 | 6 | 2 |

⑦ 確認検査の実施施設は？

| | 2017 | n=255 | 2018 | n=255 |
|-----|------|-------|------|-------|
| 自施設 | 6 | 2.4% | 45 | 17.6% |
| 他施設 | 244 | 95.7% | 184 | 72.2% |

保健所における HIV 検査相談体制に関する調査（平成 29—30 年）

B 即日検査の場合

| ③ 予約制ですか？ | | 複数回答 | | | |
|-----------|------------|------------|--------|--|--|
| | 2017 n=349 | 2018 n=331 | | | |
| はい | 286 81.9% | 357 | 107.9% | | |
| いいえ | 66 18.9% | 89 | 26.9% | | |

| ④ 結果返しは？ | | 複数回答 | | | |
|----------|------------|------------|-------|--|--|
| | 2017 n=349 | 2018 n=331 | | | |
| 即日 | | 268 | 81.0% | | |
| 1週間後まで | | 18 | 5.4% | | |
| 1週から2週まで | | 13 | 3.9% | | |

| ⑤ スクリーニング検査の方法は？ | | 複数回答 | | | |
|------------------|------------|------------|-------|--|--|
| | 2017 n=349 | 2018 n=331 | | | |
| イムノクロマト法 | | 220 | 66.5% | | |
| その他 | | 4 | 1.2% | | |
| 不明 | | 9 | 2.7% | | |

| ⑥ スクリーニング検査 実施施設は？ | | 複数回答 | | | |
|--------------------|------------|------------|-------|--|--|
| | 2017 n=349 | 2018 n=331 | | | |
| 自施設 | | 305 | 92.1% | | |
| 他施設 | | 26 | 7.9% | | |

| ⑦ 確認検査の方法は？ | | 複数回答 | | | |
|--------------------|---------------|------|--|--|--|
| | 2017(通常、即日共通) | 2018 | | | |
| WB法のみ | 119 | 64 | | | |
| 2次スクリーニング+WB法 | 118 | 69 | | | |
| WB法+NAT法 | 145 | 114 | | | |
| 2次スクリーニング+WB法+NAT法 | 93 | 70 | | | |
| その他 | 6 | 78 | | | |

| ⑧ 確認検査の実施施設は？ | | 複数回答 | | | |
|---------------|------------|------------|-------|--|--|
| | 2017 n=349 | 2018 n=331 | | | |
| 自施設 | 11 3.2% | 24 | 7.3% | | |
| 他施設 | 361 103.4% | 294 | 88.8% | | |

| ⑨ 確認検査用 検体は？ | | 複数回答 | | | |
|--------------|------------|------------|-------|--|--|
| | 2017 n=349 | 2018 n=331 | | | |
| 迅速検査残血液 | 186 53.3% | 183 | 55.3% | | |
| 確認検査用再採血 | 180 51.6% | 170 | 51.4% | | |
| 迅速検査用と同時 | 78 22.3% | 76 | 23.0% | | |
| 結果通知後 | 101 28.9% | 86 | 26.0% | | |

7. 結果説明・相談体制について

| | | 複数回答 (n=2017) | | | |
|------|--------------|---------------|-----------|--------------|-----------|
| | | スクリーニング検査陰性時 | | スクリーニング検査陽性時 | |
| | | 2017 | 2018 | 2017 | 2018 |
| 記入数 | | 483 | 472 | 343 | 387 |
| 職種 | 医師 | 209 43.3% | 209 44.3% | 287 83.7% | 340 87.9% |
| | 保健師 | 327 67.7% | 312 66.1% | 191 55.7% | 185 47.8% |
| | 看護師 | 30 6.2% | 35 7.4% | 9 2.6% | 8 2.1% |
| | 検査技師 | 25 5.2% | 16 3.4% | 13 3.8% | 9 2.3% |
| | その他(カウンセラー等) | 32 6.6% | 28 5.9% | 17 5.0% | 21 5.4% |
| 説明資料 | あり | - | 390 82.6% | - | 338 87.3% |
| | なし | - | 79 16.7% | - | 47 12.1% |
| 配布資料 | あり | - | 391 82.8% | 278 81.0% | 332 85.8% |
| | なし | - | 78 16.5% | 31 9.0% | 51 13.2% |

| | | 確認検査陰性時 | | | | 確認検査陽性時 | | | |
|------|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|------|------|------|
| | | 2017 | 2018 | 2017 | 2018 | 2017 | 2018 | 2017 | 2018 |
| 記入数 | | 415 | 420 | 458 | 457 | | | | |
| 職種 | 医師 | 263 63.4% | 295 70.2% | 454 99.1% | 454 99.3% | | | | |
| | 保健師 | 253 61.0% | 231 55.0% | 239 52.2% | 215 47.0% | | | | |
| | 看護師 | 14 3.4% | 10 2.4% | 11 2.4% | 6 1.3% | | | | |
| | 検査技師 | 17 4.1% | 8 1.9% | 14 3.1% | 6 1.3% | | | | |
| | その他(カウンセラー等) | 19 4.6% | 19 4.5% | 55 12.0% | 47 10.3% | | | | |
| 説明資料 | あり | - | 339 80.7% | 411 89.7% | 411 89.9% | | | | |
| | なし | - | 77 18.3% | 68 14.8% | 41 9.0% | | | | |
| 配布資料 | あり | - | 331 78.8% | 418 91.3% | 405 88.6% | | | | |
| | なし | - | 86 20.5% | 68 14.8% | 46 10.1% | | | | |

保健所における HIV 検査相談体制に関する調査（平成 29—30 年）

④ 検査結果の説明方法について 複数回答

| 2017年 | | n=490 | |
|------------------|-----|-------|--|
| 口頭のみ | 210 | 42.9% | |
| 結果の書面を渡す | 230 | 46.9% | |
| 希望者には結果書を渡す | 16 | 3.3% | |
| 基本は口頭、希望者には書面を渡す | 12 | 2.4% | |
| 紹介状を渡す | 8 | 1.6% | |
| 希望者には証明書を発行 | 6 | 1.2% | |
| 資料(パンフレット)を渡す | 5 | 1.0% | |
| 書面と一緒に確認しながら説明する | 5 | 1.0% | |

| 2018年 | スクリーニング検査陰性時 | | スクリーニング検査陽性時 | | 確認検査陰性時 | | 確認検査陽性時 | |
|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|--------------|------------|--------------|
| | 記入数 | | | | | | | |
| | 472 | | 387 | | 420 | | 457 | |
| 口頭のみ | 252 | 53.4% | 204 | 52.7% | 219 | 52.1% | 170 | 37.2% |
| 結果の書面を渡す | 220 | 46.6% | 166 | 42.9% | 191 | 45.5% | 249 | 54.5% |
| 希望者には結果書を渡す | 11 | 2.3% | 5 | 1.3% | 6 | 1.4% | 4 | 0.9% |
| 基本は口頭、希望者には書面を渡す | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 紹介状を渡す | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 14 | 3.1% |
| 希望者には証明書を発行 | 2 | 0.4% | 1 | 0.3% | 1 | 0.2% | 1 | 0.2% |
| 資料(パンフレット)を渡す | 2 | 0.4% | 2 | 0.5% | 1 | 0.2% | 0 | 0.0% |
| 書面と一緒に確認しながら説明する | 7 | 1.5% | 4 | 1.0% | 5 | 1.2% | 6 | 1.3% |

⑥ 確認検査陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣は可能ですか？ 複数回答

| | 全体 | | | | 陽性経験保健所 | | | |
|----------|------|-------|------------|--------------|---------|-------|-----------|--------------|
| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 | 2017 | n=113 | 2018 | n=103 |
| 経験あり | 71 | 14.5% | 83 | 17.4% | 33 | 29.2% | 38 | 36.9% |
| 実績はないが可能 | 179 | 36.5% | 172 | 36.1% | 19 | 16.8% | 18 | 17.5% |
| できない | 188 | 38.4% | 166 | 34.8% | 45 | 39.8% | 40 | 38.8% |
| 検討中 | 10 | 2.0% | 11 | 2.3% | 4 | 3.5% | 2 | 1.9% |
| その他 | 35 | 7.1% | 17 | 3.6% | 11 | 9.7% | 5 | 4.9% |
| 未記入 | 11 | 2.2% | 28 | 5.9% | 1 | 0.9% | 0 | 0.0% |

477

⑦ 確認検査で陽性の場合、貴保健所で発生届を提出していますか？ 複数回答あり

| | 全体 | | | | 陽性経験保健所 | | | |
|-----------|------|-------|------------|--------------|---------|-------|-----------|--------------|
| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 | 2017 | n=113 | 2018 | n=103 |
| 必ずおこなう | 236 | 48.2% | 202 | 42.3% | 60 | 53.1% | 44 | 42.7% |
| ほぼおこなう | 31 | 6.3% | 34 | 7.1% | 11 | 9.7% | 12 | 11.7% |
| おこなわない | 27 | 5.5% | 38 | 8.0% | 11 | 9.7% | 9 | 8.7% |
| 医療機関に依頼する | 178 | 36.3% | 178 | 37.3% | 32 | 28.3% | 38 | 36.9% |
| 未記入 | 22 | 4.5% | 25 | 5.2% | 1 | 0.9% | 0 | 0.0% |

⑧ ホームページ「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか(n=2017)

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|-----|------|-------|------------|--------------|
| ある | 451 | 92.0% | 439 | 92.0% |
| ない | 35 | 7.1% | 33 | 6.9% |
| 未記入 | 4 | 0.8% | 5 | 1.0% |

⑨ 「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思います(n=2017)

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|-----|------|-------|------------|--------------|
| はい | 411 | 83.9% | 373 | 78.2% |
| いいえ | 2 | 0.4% | 4 | 0.8% |
| 不明 | 71 | 14.5% | 95 | 19.9% |
| 未記入 | 4 | 0.8% | 5 | 1.0% |

特設検査相談施設における HIV 検査体制に関する調査（平成 29-30 年）

| | 2017 | | 2018 | |
|----------|------|-------|------|-------|
| アンケート送付数 | 22 | | 24 | |
| 回収数 | 21 | 95.5% | 21 | 87.5% |

1. HIV検査実績について

① HIV検査件数

| | 2017 | | 2018 | |
|-------|--------|--|--------|--|
| 検査数 | 25,034 | | 31,825 | |
| うち陽性数 | 130 | | 129 | |
| 陽性率 | 0.52% | | 0.41% | |

陽性経験数

| | 2017 n=21 | | 2018 n=21 | |
|------------|-----------|-------|-----------|-------|
| 陽性者があった施設 | 16 | 76.2% | 15 | 71.4% |
| 陽性者がなかった施設 | 5 | 23.8% | 6 | 28.6% |

年間検査件数別 保健所数・検査件数

| | 保健所数 | | | | 検査件数 | | | |
|----------|------|-------|------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 2017 | | 2018 | | 2017 | | 2018 | |
| 全体 | 21 | | 21 | | 25,034 | | 31,825 | |
| 50件未満 | 1 | 4.8% | 0 | 0.0% | 48 | 0.2% | - | - |
| 50-99件 | 1 | 4.8% | 0 | 0.0% | 89 | 0.4% | - | - |
| 100-199件 | 2 | 9.5% | 4 | 19.0% | 295 | 1.2% | 508 | 1.6% |
| 200-499件 | 4 | 19.0% | 2 | 9.5% | 1,519 | 6.1% | 818 | 2.6% |
| 500-999件 | 5 | 23.8% | 7 | 33.3% | 3,208 | 12.8% | 4,802 | 15.1% |
| 1000件以上 | 8 | 38.1% | 8 | 38.1% | 19,875 | 79.4% | 25,697 | 80.7% |

年間検査件数別陽性数・陽性率・陽性経験数

| | 陽性数(陽性率) | | | | 陽性経験率 | | 陽性経験数 | |
|----------|----------|---------|------|---------|--------|--------|-------|------|
| | 2017 | | 2018 | | 2017 | 2018 | 2017 | 2018 |
| 全体 | 130 | (0.52%) | 129 | (0.41%) | 76.2% | 71.4% | 16 | 15 |
| 50件未満 | 0 | - | - | - | - | - | - | - |
| 50-99件 | 0 | - | - | - | - | - | - | - |
| 100-199件 | 1 | (0.34%) | 3 | (0.59%) | 50.0% | 25.0% | 1 | 1 |
| 200-499件 | 6 | (0.39%) | 2 | (0.24%) | 75.0% | 100.0% | 3 | 2 |
| 500-999件 | 15 | (0.47%) | 21 | (0.44%) | 100.0% | 71.4% | 5 | 5 |
| 1000件以上 | 108 | (0.54%) | 103 | (0.40%) | 87.5% | 87.5% | 7 | 7 |

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数と%

| | 2017 | | | | 2018 | | | |
|-------------|--------|-------|-----|-------|--------|-------|-----|-------|
| | 陰性 | | 陽性 | | 陰性 | | 陽性 | |
| 受検者数 | 25,034 | | | | 31,825 | | | |
| 結果を聞きに来た | 24,446 | 98.2% | 117 | 90.0% | 31,099 | 98.1% | 117 | 90.7% |
| 結果を聞きに来なかった | 458 | 1.8% | 13 | 10.0% | 597 | 1.9% | 12 | 9.3% |
| 合計 | 24,904 | | 130 | | 31,696 | | 129 | |

③ 発生届出を行った陽性者数

④ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数:

| | 2017 n=130 | | 2018 n=129 | |
|-------------------------|------------|-------|------------|-------|
| 発生届出を行った陽性者数 | 107 | 82.3% | 89 | 69.0% |
| 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数 | 95 | 81.2% | 85 | 72.6% |

⑤ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

| | 2017 | | | | 2018 | | | |
|----|---------|-------|------------|-------|---------|-------|------------|-------|
| | 全体 n=21 | | 陽性経験施設n=16 | | 全体 n=21 | | 陽性経験施設n=15 | |
| ある | 18 | 85.7% | 14 | 87.5% | 19 | 90.5% | 13 | 86.7% |
| ない | 3 | 14.3% | 2 | 12.5% | 2 | 9.5% | 2 | 13.3% |

特設検査相談施設における HIV 検査体制に関する調査（平成 29-30 年）

3. HIV検査・相談事業について

① HIV検査と同時にHIV以外の性感染症検査を行っていますか？

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|--------|------|-------|------|-------|
| 行っている | 13 | 61.9% | 12 | 57.1% |
| 行っていない | 8 | 38.1% | 9 | 42.9% |

「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目

複数回答

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|---------|------|--------|------|--------|
| 梅毒 | 13 | 100.0% | 12 | 100.0% |
| クラミジア抗体 | 3 | 23.1% | 2 | 16.7% |
| クラミジア抗原 | 1 | 7.7% | 1 | 8.3% |
| 淋菌 | 4 | 30.8% | 3 | 25.0% |
| B型肝炎 | 3 | 23.1% | 5 | 41.7% |
| C型肝炎 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |

② HIV検査結果の連絡・受け渡しについて

H30年1月以降HIV/性感染症検査に関して誤った結果を通知したことはありましたか？

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|------|------|-------|------|--------|
| なかった | 20 | 95.2% | 21 | 100.0% |
| あった | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |

③ HIV検査成績の証明書を発行していますか？

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|---------|------|------|------|--------|
| 発行していない | | | 21 | 100.0% |
| 発行している | | | 0 | 0.0% |

④ HIV検査の陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？（複数回答）

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|-----------------------|------|-------|------|-------|
| ない | 3 | 14.3% | 2 | 9.5% |
| ある | 18 | 85.7% | 19 | 90.5% |
| →紹介状の返信、 医療機関からの報告 | | | 18 | 94.7% |
| →受診医療機関に確認 | | | 0 | 0.0% |
| →同伴受診 | | | 1 | 5.3% |
| →本人の連絡先を把握 | | | 1 | 5.3% |

4. 検査実施体制について

① 検査・相談に関わる担当者用のマニュアルがありますか？

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|----|------|------|------|-------|
| ある | | | 20 | 95.2% |
| ない | | | 1 | 4.8% |

② 検査および感染予防等に関する相談を実施していますか？

(※2017年の設問:感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっていますか？)

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|-------|------|-------|------|--------|
| していない | 2 | 9.5% | 0 | 0.0% |
| している | 18 | 85.7% | 21 | 100.0% |

対象者は？

| | 2017 | n=18 | 2018 | n=21 |
|------|------|-------|------|-------|
| →全員に | 16 | 88.9% | 20 | 95.2% |
| →一部に | 1 | 5.6% | 0 | 0.0% |
| →未記入 | 1 | 5.6% | 1 | 4.8% |

タイミングは？

複数回答

| | 2017 | n=18 | 2018 | n=21 |
|--------|------|-------|------|-------|
| 検査前に | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 結果説明後に | 9 | 50.0% | 6 | 28.6% |
| 両方に | 8 | 44.4% | 15 | 71.4% |

特設検査相談施設における HIV 検査体制に関する調査（平成 29-30 年）

| 具体的手法は？ | 複数回答 | | | |
|----------|------|------|------|-------|
| | 2017 | n=18 | 2018 | n=21 |
| 資料配布 | | | 11 | 52.4% |
| 医師対応 | | | 14 | 66.7% |
| 保健師対応 | | | 5 | 23.8% |
| カウンセラー対応 | | | 5 | 23.8% |
| その他職員対応 | | | 3 | 14.3% |
| NGOと連携 | | | 3 | 14.3% |

③ 検査・相談に関わる担当者の研修や再教育の機会がありますか？

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|----|------|-------|------|-------|
| ある | 17 | 81.0% | 18 | 85.7% |
| ない | 3 | 14.3% | 3 | 14.3% |

5. 受検者に関する情報収集・対応状況等について

① 受検者について把握している内容に○を付けて下さい 複数回答あり

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|-----------|------|-------|------|--------|
| 性別 | 20 | 95.2% | 21 | 100.0% |
| 年齢 | 13 | 61.9% | 13 | 61.9% |
| 年代 | 11 | 52.4% | 14 | 66.7% |
| 居住地域 | 12 | 57.1% | 15 | 71.4% |
| 受検動機 | 18 | 85.7% | 17 | 81.0% |
| 受検経験 | 18 | 85.7% | 19 | 90.5% |
| 感染リスク | 18 | 85.7% | 18 | 85.7% |
| 性的指向 | 17 | 81.0% | 19 | 90.5% |
| 感染機会の時期 | 18 | 85.7% | 17 | 81.0% |
| 今回の検査の情報源 | 17 | 81.0% | 20 | 95.2% |
| その他 | 3 | 14.3% | 2 | 9.5% |

② 受検者の情報を把握するための質問票などを用いていますか？

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|---------|------|------|------|--------|
| 用いていない | | | 0 | 0.0% |
| 用いている | | | 21 | 100.0% |
| →検査前 | | | 6 | 28.6% |
| →検査後 | | | 5 | 23.8% |
| →検査前後両方 | | | 8 | 38.1% |
| 未回答 | | | 2 | 9.5% |

③ 職務中の血液暴露事故が受検動機の受検者はいましたか？

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|---------------|------|-------|------|-------|
| わからない、把握していない | - | - | 7 | 33.3% |
| いない | 10 | 47.6% | 6 | 28.6% |
| いる | 9 | 42.9% | 8 | 38.1% |

| →職種 | 2017 | | 2018 | |
|-----------|------|-----|------|-----|
| | H28 | H29 | H29 | H30 |
| 医療職 | | | 3 | 2 |
| 福祉職 | | | 0 | 0 |
| 美容職 | | | 0 | 0 |
| 清掃業 | | | 0 | 0 |
| その他 | | | 3 | 3 |
| →人数 5名以下 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| →人数 10名以下 | | | 0 | 0 |
| →人数 11名以上 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| →人数不明 | | | 3 | 3 |

④ 中学生・高校生の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|------------------|------|-------|------|-------|
| 通常通り行う | 12 | 57.1% | 14 | 66.7% |
| 受け付けない | 0 | 0.0% | 1 | 4.8% |
| 検査・告知とも保護者同伴で受付 | | 0.0% | | 0.0% |
| 告知のみ保護者同伴で受付 | | 0.0% | 1 | 4.8% |
| 保護者の同意を得られているか | | 0.0% | | 0.0% |
| 保護者同伴 | | 0.0% | | 0.0% |
| 陽性時(緊急時)は保護者に説明 | | 0.0% | 1 | 4.8% |
| 中学生は保護者同伴か受け付けない | | 0.0% | | 0.0% |
| 状況に応じて | 7 | 33.3% | 4 | 19.0% |

特設検査相談施設における HIV 検査体制に関する調査（平成 29-30 年）

⑤ 日本語のわからない外国籍の人が受検できる仕組みがありますか？

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|--------------|------|-------|------|-------|
| ない | 7 | 33.3% | 7 | 33.3% |
| ある | 11 | 52.4% | 14 | 66.7% |
| ◆言語 | | | | |
| →英語 | 9 | 81.8% | 10 | 71.4% |
| →ポルトガル語 | 1 | 9.1% | 2 | 14.3% |
| →スペイン語 | | 0.0% | 1 | 7.1% |
| →タイ語 | | 0.0% | 1 | 7.1% |
| ◆方法 | | | | |
| 問診票、説明書 | | | 9 | 64.3% |
| パンフレット | | | 1 | 7.1% |
| 通訳依頼 | | | 4 | 28.6% |
| タブレット、通訳システム | | | 1 | 7.1% |
| 外国語対応できる人 | | | 1 | 7.1% |

6. HIV検査の実施状況について教えてください(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答)

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 | |
|----|----------------|------|-------|------|-------|
| | 通常検査を行っている | 5 | 23.8% | 5 | 23.8% |
| | 即日検査を行っている | 18 | 85.7% | 18 | 85.7% |
| 1 | 通常検査のみ | 3 | 14.3% | 3 | 14.3% |
| 2 | 即日検査のみ | 16 | 76.2% | 16 | 76.2% |
| 3 | 通常+即日 | 2 | 9.5% | 2 | 9.5% |
| A | 平日昼のみ検査 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| B | 平日夜間検査 | 5 | 23.8% | 5 | 23.8% |
| C | 土日検査(祝日含む) | 16 | 76.2% | 16 | 76.2% |
| 1A | 通常のみ+平日昼のみ | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 1B | 通常のみ+夜間も行っている | 1 | 4.8% | 1 | 4.8% |
| 1C | 通常+土日検査も | 2 | 9.5% | 2 | 9.5% |
| 2A | 即日のみ+平日昼のみ | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 2B | 即日のみ+夜間も行っている | 3 | 14.3% | 4 | 19.0% |
| 2C | 即日+土日検査も | 13 | 61.9% | 12 | 57.1% |
| 3A | 通常+即日・平日昼のみ | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 3B | 通常+即日・夜間も行っている | 1 | 4.8% | 0 | 0.0% |
| 3C | 通常+即日・土日検査も | 1 | 4.8% | 2 | 9.5% |

A 通常検査の場合

③ 予約制ですか？

| | 2017 | n=5 | 2018 | n=5 |
|-----|------|-------|------|-------|
| はい | 3 | 60.0% | 2 | 40.0% |
| いいえ | 2 | 40.0% | 3 | 60.0% |

④ 結果返しは？

| | 2017 | n=5 | 2018 | n=5 |
|-----------|------|-------|------|--------|
| 1週間後まで | 4 | 80.0% | 5 | 100.0% |
| 1週から2週間まで | 1 | 20.0% | 0 | 0.0% |

⑤ スクリーニング検査 実施施設は？

| | 2017 | n=5 | 2018 | n=5 |
|-----|------|-------|------|--------|
| 自施設 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 他施設 | 4 | 80.0% | 5 | 100.0% |

特設検査相談施設における HIV 検査体制に関する調査（平成 29-30 年）

⑥ 確認検査の方法は？ 複数回答

| | 2017(通常、即日共通) | 2018 |
|--------------------|---------------|------|
| WB法のみ | 0 | 0 |
| 2次スクリーニング+WB法 | 6 | 0 |
| WB法+NAT法 | 3 | 2 |
| 2次スクリーニング+WB法+NAT法 | 8 | 3 |
| その他 | 4 | 0 |

⑦ 確認検査の実施施設は？

| | 2017 | n=5 | 2018 | n=5 |
|-----|------|--------|------|-------|
| 自施設 | 0 | 0.0% | 1 | 20.0% |
| 他施設 | 5 | 100.0% | 3 | 60.0% |

B 即日検査の場合

③ 予約制ですか？ 複数回答

| | 2017 | n=18 | 2018 | n=18 |
|-----|------|-------|------|-------|
| はい | 12 | 66.7% | 13 | 72.2% |
| いいえ | 4 | 22.2% | 4 | 22.2% |

④ 結果返しは？

| | 2017 | n=18 | 2018 | n=18 |
|----------|------|------|------|-------|
| 即日 | | | 8 | 44.4% |
| 1週間後まで | | | 5 | 27.8% |
| 1週から2週まで | | | 5 | 27.8% |

⑤ スクリーニング検査の方法は？ 複数回答

| | 2017 | n=18 | 2018 | n=18 |
|----------|------|------|------|-------|
| イムノクロマト法 | | | 12 | 66.7% |
| 不明 | | | 6 | 33.3% |

⑥ スクリーニング検査 実施施設は？

| | 2017 | n=18 | 2018 | n=18 |
|-----|------|------|------|-------|
| 自施設 | | | 14 | 77.8% |
| 他施設 | | | 4 | 22.2% |

⑦ 確認検査の方法は？

| | 2017(通常、即日共通) | 2018 |
|--------------------|---------------|------|
| WB法のみ | 0 | 0 |
| 2次スクリーニング+WB法 | 6 | 3 |
| WB法+NAT法 | 3 | 4 |
| 2次スクリーニング+WB法+NAT法 | 8 | 1 |
| その他 | 4 | 2 |

⑧ 確認検査の実施施設は？

| | 2017 | n=18 | 2018 | n=18 |
|-----|------|-------|------|-------|
| 自施設 | 5 | 27.8% | 4 | 22.2% |
| 他施設 | 11 | 61.1% | 14 | 77.8% |

⑨ 確認検査用 検体は？ 複数回答

| | 2017 | n=18 | 2018 | n=18 |
|----------|------|-------|------|-------|
| 迅速検査残血液 | 8 | 44.4% | 11 | 61.1% |
| 確認検査用再採血 | 7 | 38.9% | 7 | 38.9% |
| 迅速検査用と同時 | 2 | 11.1% | 2 | 11.1% |
| 結果通知後 | 5 | 27.8% | 5 | 27.8% |

特設検査相談施設における HIV 検査体制に関する調査（平成 29-30 年）

7. 結果説明・相談体制について

| | スクリーニング検査陰性時 | | | | スクリーニング検査陽性時 | | | |
|--------------|--------------|-------|------|-------|--------------|-------|------|-------|
| | 2017 | | 2018 | | 2017 | | 2018 | |
| 記入数 | 20 | | 21 | | 15 | | 21 | |
| 職種 医師 | 15 | 75.0% | 17 | 81.0% | 14 | 93.3% | 17 | 81.0% |
| 保健師 | 3 | 15.0% | 4 | 19.0% | 2 | 13.3% | 3 | 14.3% |
| 看護師 | 2 | 10.0% | 2 | 9.5% | 1 | 6.7% | 2 | 9.5% |
| 検査技師 | 0 | 0.0% | 1 | 4.8% | 0 | 0.0% | 1 | 4.8% |
| その他(カウンセラー等) | 7 | 35.0% | 7 | 33.3% | 5 | 33.3% | 6 | 28.6% |
| 説明資料 あり | - | - | 19 | 90.5% | - | - | 18 | 85.7% |
| なし | - | - | 2 | 9.5% | - | - | 0 | 0.0% |
| 配布資料 あり | - | - | 20 | 95.2% | - | 0.0% | 17 | 81.0% |
| なし | - | - | 1 | 4.8% | - | 0.0% | 1 | 4.8% |

| | 確認検査陰性時 | | | | 確認検査陽性時 | | | |
|--------------|---------|-------|------|-------|---------|--------|------|--------|
| | 2017 | | 2018 | | 2017 | | 2018 | |
| 記入数 | 16 | | 21 | | 18 | | 21 | |
| 職種 医師 | 12 | 75.0% | 20 | 95.2% | 18 | 100.0% | 21 | 100.0% |
| 保健師 | 2 | 12.5% | 3 | 14.3% | 2 | 11.1% | 3 | 14.3% |
| 看護師 | 0 | 0.0% | 2 | 9.5% | 1 | 5.6% | 2 | 9.5% |
| 検査技師 | 0 | 0.0% | 1 | 4.8% | 0 | 0.0% | 1 | 4.8% |
| その他(カウンセラー等) | 6 | 37.5% | 5 | 23.8% | 7 | 38.9% | 6 | 28.6% |
| 説明資料 あり | - | - | 17 | 81.0% | - | 0.0% | 21 | 100.0% |
| なし | - | - | 3 | 14.3% | - | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 配布資料 あり | - | - | 16 | 76.2% | - | 0.0% | 21 | 100.0% |
| なし | - | - | 4 | 19.0% | - | 0.0% | 0 | 0.0% |

④ 検査結果の説明方法について

| 2017 n=21 | | |
|-----------|----|-------|
| 口頭のみ | 8 | 38.1% |
| 結果の書面を渡す | 12 | 57.1% |

| 2018 n=21 | | | スクリーニング検査陰性時 | スクリーニング検査陽性時 | 確認検査陰性時 | 確認検査陽性時 |
|-----------|----|-------|--------------|--------------|---------|---------|
| 口頭のみ | 8 | 38.1% | 7 | 33.3% | 7 | 33.3% |
| 結果の書面を渡す | 12 | 57.1% | 11 | 52.4% | 13 | 61.9% |

⑥ 確認検査陽性者への対応として専門のカウンセラーの派遣は可能ですか？

複数回答

| | 全体 | | | | 陽性経験保健所 | | | |
|----------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 2017 n=21 | | 2018 n=21 | | 2017 n=16 | | 2018 n=15 | |
| 経験あり | 8 | 38.1% | 12 | 57.1% | 7 | 43.8% | 7 | 46.7% |
| 実績はないが可能 | 6 | 28.6% | 4 | 19.0% | 4 | 25.0% | 4 | 26.7% |
| できない | 4 | 19.0% | 3 | 14.3% | 3 | 18.8% | 2 | 13.3% |
| 検討中 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| その他 | 2 | 9.5% | 1 | 4.8% | 2 | 12.5% | 1 | 6.7% |
| 未記入 | 1 | 4.8% | 1 | 4.8% | 0 | 0.0% | 1 | 6.7% |

⑦ 確認検査で陽性の場合、貴保健所で発生届を提出していますか？

複数回答

| | 全体 | | | | 陽性経験保健所 | | | |
|-----------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 2017 n=21 | | 2018 n=21 | | 2017 n=16 | | 2018 n=15 | |
| 必ずおこなう | 12 | 57.1% | 10 | 47.6% | 9 | 56.3% | 6 | 40.0% |
| ほぼおこなう | 0 | 0.0% | 2 | 9.5% | 0 | 0.0% | 2 | 13.3% |
| おこなわない | 1 | 4.8% | 1 | 4.8% | 1 | 6.3% | 1 | 6.7% |
| 医療機関に依頼する | 7 | 33.3% | 8 | 38.1% | 6 | 37.5% | 6 | 40.0% |
| 未記入 | 1 | 4.8% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |

⑧ ホームページ「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？

| | 2017 n=21 | 2018 n=21 |
|-----|-----------|-----------|
| ある | 20 | 95.2% |
| ない | 0 | 0.0% |
| 未記入 | 1 | 4.8% |

⑨ 「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

| | 2017 n=490 | 2018 n=477 |
|-----|------------|------------|
| はい | 20 | 95.2% |
| いいえ | 0 | 0.0% |
| 不明 | 1 | 4.8% |

ブロック別 HIV・梅毒検査数－保健所（平成 29－30 年）

H29 年度

【ブロック別保健所数、HIV検査件数、陽性数および陽性率】

| ブロック | 保健所数 | 検査件数 | 陽性数 | 陽性率 |
|-------|------|--------|-----|------|
| 北海道 | 36 | 1,675 | 4 | 0.24 |
| 東北 | 52 | 4,079 | 8 | 0.20 |
| 関東甲信越 | 144 | 30,562 | 102 | 0.33 |
| 北陸 | 21 | 1,608 | 4 | 0.25 |
| 東海 | 50 | 13,250 | 24 | 0.18 |
| 近畿 | 59 | 16,825 | 44 | 0.26 |
| 中国/四国 | 61 | 6,106 | 8 | 0.13 |
| 九州 | 67 | 11,860 | 45 | 0.38 |
| 総計 | 490 | 85,965 | 239 | 0.28 |

【検査種別での分類-保健所数】

| ブロック | 通常検査のみ | 即日検査のみ | 通常+即日 | 総計 |
|-------|--------|--------|-------|-----|
| 北海道 | 9 | 25 | 2 | 36 |
| 東北 | 9 | 26 | 17 | 52 |
| 関東甲信越 | 55 | 53 | 36 | 144 |
| 北陸 | 10 | 1 | 10 | 21 |
| 東海 | 25 | 15 | 10 | 50 |
| 近畿 | 16 | 29 | 14 | 59 |
| 中国/四国 | 8 | 38 | 15 | 61 |
| 九州 | 9 | 48 | 10 | 67 |
| 総計 | 141 | 235 | 114 | 490 |

【検査件数での分類-保健所数】

| ブロック | 50件未満 | 50-99件 | 100-199件 | 200-499件 | 500-999件 | 1000件以上 | 総計 |
|-------|-------|--------|----------|----------|----------|---------|-----|
| 北海道 | 27 | 5 | 3 | | 1 | | 36 |
| 東北 | 33 | 10 | 4 | 4 | | 1 | 52 |
| 関東甲信越 | 39 | 28 | 26 | 34 | 14 | 3 | 144 |
| 北陸 | 15 | 1 | 2 | 3 | | | 21 |
| 東海 | 7 | 14 | 8 | 12 | 8 | 1 | 50 |
| 近畿 | 21 | 7 | 16 | 9 | 2 | 4 | 59 |
| 中国/四国 | 31 | 5 | 14 | 11 | | | 61 |
| 九州 | 28 | 14 | 10 | 10 | 1 | 4 | 67 |
| 総計 | 201 | 84 | 83 | 83 | 26 | 13 | 490 |

【検査件数での分類-検査件数】

| ブロック | 50件未満 | 50-99件 | 100-199件 | 200-499件 | 500-999件 | 1000件以上 | 総計 |
|-------|-------|--------|----------|----------|----------|---------|--------|
| 北海道 | 424 | 305 | 420 | | 526 | | 1,675 |
| 東北 | 651 | 725 | 525 | 1,082 | | 1,096 | 4,079 |
| 関東甲信越 | 1,048 | 1,965 | 3,687 | 10,478 | 9,036 | 4,348 | 30,562 |
| 北陸 | 313 | 55 | 259 | 981 | | | 1,608 |
| 東海 | 179 | 1,048 | 1,092 | 3,390 | 5,326 | 2,215 | 13,250 |
| 近畿 | 510 | 599 | 2,486 | 2,900 | 1,518 | 8,812 | 16,825 |
| 中国/四国 | 559 | 373 | 1,855 | 3,319 | | | 6,106 |
| 九州 | 531 | 999 | 1,402 | 3,207 | 868 | 4,853 | 11,860 |
| 総計 | 4,215 | 6,069 | 11,726 | 25,357 | 17,274 | 21,324 | 85,965 |

【検査件数での分類-陽性数】

| ブロック | 50件未満 | 50-99件 | 100-199件 | 200-499件 | 500-999件 | 1000件以上 | 総計 |
|-------|-------|--------|----------|----------|----------|---------|-----|
| 北海道 | 0 | 1 | 1 | | 2 | | 4 |
| 東北 | 0 | 4 | 1 | 0 | | 3 | 8 |
| 関東甲信越 | 3 | 8 | 9 | 31 | 30 | 21 | 102 |
| 北陸 | 0 | 0 | 1 | 3 | | | 4 |
| 東海 | 1 | 1 | 1 | 4 | 9 | 8 | 24 |
| 近畿 | 0 | 1 | 4 | 9 | 3 | 27 | 44 |
| 中国/四国 | 2 | 1 | 1 | 4 | | | 8 |
| 九州 | 2 | 2 | 8 | 8 | 5 | 20 | 45 |
| 総計 | 8 | 18 | 26 | 59 | 49 | 79 | 239 |

ブロック別 HIV・梅毒検査数－保健所（平成 29－30 年）

【梅毒実施件数、検査数・陽性数】

| ブロック | 梅毒検査 実施している | (3)検査数 | (3)陽性数 | うちSTS検査 数 | うちSTS陽性 数 | (3)うちTP検査 数 | (3)うちTP陽性 数 |
|-------|----------------|--------|--------|--------------|--------------|----------------|----------------|
| 北海道 | 3 | 142 | 3 | 43 | 0 | | |
| 東北 | 51 | 3,211 | 54 | 1,812 | 19 | 2,750 | 44 |
| 関東甲信越 | 133 | 23,696 | 493 | 20,297 | 237 | 18,567 | 494 |
| 北陸 | 5 | 326 | 5 | 326 | 1 | 151 | 5 |
| 東海 | 50 | 6,933 | 175 | 6,632 | 90 | 6,591 | 188 |
| 近畿 | 53 | 12,979 | 202 | 9,477 | 149 | 7,559 | 221 |
| 中国/四国 | 41 | 2,891 | 50 | 2,123 | 37 | 2,362 | 46 |
| 九州 | 57 | 8,926 | 169 | 7,258 | 106 | 7,129 | 213 |
| 総計 | 393 | 59,104 | 1,151 | 47,968 | 639 | 45,109 | 1,211 |

H30 年度

【HIV検査】

| ブロック | 保健所数 | 検査件数 | 陽性数 | 陽性率 |
|-------|------|--------|-----|-------|
| 北海道 | 38 | 2,075 | 4 | 0.19% |
| 東北 | 45 | 4,103 | 3 | 0.07% |
| 関東甲信越 | 128 | 28,846 | 77 | 0.27% |
| 北陸 | 22 | 1,723 | 3 | 0.17% |
| 東海 | 45 | 12,332 | 28 | 0.23% |
| 近畿 | 66 | 18,956 | 32 | 0.17% |
| 中国/四国 | 62 | 5,872 | 12 | 0.20% |
| 九州 | 71 | 12,237 | 38 | 0.31% |
| 総計 | 477 | 86,144 | 197 | 0.23% |

【検査種別での分類-保健所数】

| 行レベル | 通常検査のみ | 即日検査のみ | 通常+即日 | 総計 |
|-------|--------|--------|-------|-----|
| 北海道 | 9 | 27 | 2 | 38 |
| 東北 | 7 | 24 | 14 | 45 |
| 関東甲信越 | 52 | 46 | 30 | 128 |
| 北陸 | 11 | 2 | 9 | 22 |
| 東海 | 23 | 15 | 7 | 45 |
| 近畿 | 25 | 22 | 19 | 66 |
| 中国/四国 | 9 | 40 | 13 | 62 |
| 九州 | 10 | 46 | 15 | 71 |
| 総計 | 146 | 222 | 109 | 477 |

【検査件数での分類-保健所数】

| ブロック | 50件未満 | 50-99件 | 100-199件 | 200-499件 | 500-999件 | 1000件以上 | 総計 |
|-------|-------|--------|----------|----------|----------|---------|-----|
| 北海道 | 27 | 8 | 1 | 1 | 1 | | 38 |
| 東北 | 28 | 8 | 3 | 5 | | 1 | 45 |
| 関東甲信越 | 36 | 24 | 25 | 25 | 15 | 3 | 128 |
| 北陸 | 14 | 2 | 3 | 3 | | | 22 |
| 東海 | 8 | 10 | 11 | 8 | 7 | 1 | 45 |
| 近畿 | 16 | 14 | 20 | 10 | 2 | 4 | 66 |
| 中国/四国 | 31 | 10 | 11 | 10 | | | 62 |
| 九州 | 34 | 14 | 6 | 11 | 1 | 5 | 71 |
| 総計 | 194 | 90 | 80 | 73 | 26 | 14 | 477 |

【検査件数での分類-検査件数】

| ブロック | 50件未満 | 50-99件 | 100-199件 | 200-499件 | 500-999件 | 1000件以上 | 総計 |
|-------|-------|--------|----------|----------|----------|---------|--------|
| 北海道 | 441 | 608 | 157 | 227 | 642 | | 2,075 |
| 東北 | 582 | 626 | 483 | 1,288 | | 1,124 | 4,103 |
| 関東甲信越 | 950 | 1,717 | 3,726 | 7,688 | 10,083 | 4,682 | 28,846 |
| 北陸 | 280 | 126 | 452 | 865 | | | 1,723 |
| 東海 | 217 | 702 | 1,396 | 2,475 | 5,141 | 2,401 | 12,332 |
| 近畿 | 462 | 977 | 2,880 | 2,870 | 1,434 | 10,333 | 18,956 |
| 中国/四国 | 625 | 676 | 1,451 | 3,120 | | | 5,872 |
| 九州 | 624 | 1,053 | 853 | 3,498 | 523 | 5,686 | 12,237 |
| 総計 | 4,181 | 6,485 | 11,398 | 22,031 | 17,823 | 24,226 | 86,144 |

ブロック別 HIV・梅毒検査数－保健所（平成 29－30 年）

【検査件数での分類-陽性数】

| ブロック | 50件未満 | 50-99件 | 100-199件 | 200-499件 | 500-999件 | 1000件以上 | 総計 |
|-------|-------|--------|----------|----------|----------|---------|-----|
| 北海道 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | | 4 |
| 東北 | 0 | 0 | 2 | 1 | | 0 | 3 |
| 関東甲信越 | 3 | 3 | 6 | 25 | 34 | 6 | 77 |
| 北陸 | 0 | 0 | 0 | 3 | | | 3 |
| 東海 | 0 | 1 | 1 | 5 | 14 | 7 | 28 |
| 近畿 | 1 | 0 | 5 | 5 | 2 | 19 | 32 |
| 中国/四国 | 2 | 1 | 2 | 7 | | | 12 |
| 九州 | 0 | 3 | 3 | 9 | 0 | 23 | 38 |
| 総計 | 6 | 9 | 19 | 56 | 52 | 55 | 197 |

【検査件数での分類-陽性率】

| ブロック | 50件未満 | 50-99件 | 100-199件 | 200-499件 | 500-999件 | 1000件以上 | 総計 |
|-------|-------|--------|----------|----------|----------|---------|-------|
| 北海道 | 0.00% | 0.16% | 0.00% | 0.44% | 0.31% | — | 0.19% |
| 東北 | 0.00% | 0.00% | 0.41% | 0.08% | — | 0.00% | 0.07% |
| 関東甲信越 | 0.32% | 0.17% | 0.16% | 0.33% | 0.34% | 0.13% | 0.27% |
| 北陸 | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.35% | — | — | 0.17% |
| 東海 | 0.00% | 0.14% | 0.07% | 0.20% | 0.27% | 0.29% | 0.23% |
| 近畿 | 0.22% | 0.00% | 0.17% | 0.17% | 0.14% | 0.18% | 0.17% |
| 中国/四国 | 0.32% | 0.15% | 0.14% | 0.22% | — | — | 0.20% |
| 九州 | 0.00% | 0.28% | 0.35% | 0.26% | 0.00% | 0.40% | 0.31% |
| 総計 | 0.14% | 0.14% | 0.17% | 0.25% | 0.29% | 0.23% | 0.23% |

【梅毒実施件数、検査数・陽性数】

| ブロック | 梅毒検査 実施している | (3)検査数 | (3)陽性数 | うちSTS検査 数 | うちSTS陽性 数 | (3)うちTP検査 数 | (3)うちTP陽性 数 |
|-------|----------------|--------|--------|--------------|--------------|----------------|----------------|
| 北海道 | 18 | 1,177 | 19 | 761 | 12 | 992 | 14 |
| 東北 | 45 | 3,759 | 86 | 2,150 | 33 | 3,612 | 81 |
| 関東甲信越 | 122 | 23,118 | 457 | 18,377 | 250 | 18,582 | 518 |
| 北陸 | 14 | 643 | 8 | 502 | 5 | 502 | 8 |
| 東海 | 45 | 7,635 | 273 | 6,946 | 127 | 7,168 | 253 |
| 近畿 | 57 | 16,140 | 299 | 11,170 | 178 | 8,831 | 321 |
| 中国/四国 | 54 | 3,637 | 73 | 2,328 | 29 | 2,982 | 64 |
| 九州 | 59 | 8,856 | 220 | 5,843 | 118 | 6,039 | 235 |
| 総計 | 414 | 64,965 | 1,435 | 48,077 | 752 | 48,708 | 1,494 |

【梅毒陽性率】

| ブロック | 陽性率(全体) | STS陽性率 | TP検査陽性率 |
|-------|---------|--------|---------|
| 北海道 | 1.61% | 1.58% | 1.41% |
| 東北 | 2.29% | 1.53% | 2.24% |
| 関東甲信越 | 1.98% | 1.36% | 2.79% |
| 北陸 | 1.24% | 1.00% | 1.59% |
| 東海 | 3.58% | 1.83% | 3.53% |
| 近畿 | 1.85% | 1.59% | 3.63% |
| 中国/四国 | 2.01% | 1.25% | 2.15% |
| 九州 | 2.48% | 2.02% | 3.89% |
| 総計 | 2.21% | 1.56% | 3.07% |

特設検査相談施設における梅毒検査体制に関する調査（平成 29-30 年）

1. (1) 貴施設では梅毒検査を実施していますか？

| | 2017 | n=21 | 2018 | n=21 |
|---------|------|-------|------|-------|
| 実施している | 11 | 52.4% | 12 | 57.1% |
| 実施していない | 8 | 38.1% | 8 | 38.1% |
| 実施の予定 | 2 | 9.5% | 1 | 4.8% |

「梅毒検査を行っている」と答えた保健所のみ

(1) 検査体制に関するご質問

① 梅毒検査について、検査費用の自己負担はありますか。

| | 2017 | | 2018 | |
|--------|----------|--------|------|--------|
| | n=11 | n=12 | n=11 | n=12 |
| | HIV検査と同時 | 梅毒検査のみ | | |
| ある（有料） | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| ない（無料） | 11 | 100.0% | 12 | 100.0% |

② 梅毒検査単独でも検査を受けることができますか。

| | 2017 | n=11 | 2018 | n=12 |
|------------------|------|--------|------|-------|
| 梅毒検査単独でも受けられる | 0 | 0.0% | 1 | 8.3% |
| HIV検査と一緒にのみ受けられる | 11 | 100.0% | 11 | 91.7% |

③ 梅毒検査に関する説明・相談に、何らかの資料を使用していますか。

| | 2017 | 2018 | n=12 |
|-------------|------|------|---------|
| 使用していない | | 0 | 0.0% |
| 使用している | | 12 | 100.0% |
| →自施設で作成した資料 | | 8 | (66.7%) |
| →他施設が作成した資料 | | 6 | (50.0%) |
| 県・市作成資料 | | 2 | (16.7%) |

④ 貴施設で実施している梅毒の検査法について、該当するものに丸を付けてください。

複数回答

| | 2017 | n=11 | 2018 | n=12 |
|---------------------------------------|------|---------|------|---------|
| ■ 脂質(カルジオリピン)を抗原とする検査(STS法) | 11 | 100.0% | 7 | 58.3% |
| →RPRカードテスト | 5 | (45.5%) | 6 | (85.7%) |
| →自動化法 | 2 | (18.2%) | 1 | (14.3%) |
| →不明 | 4 | 36.4% | | (0.0%) |
| ■ <i>T. pallidum</i> を抗原とする検査(TP抗体検査) | 13 | 118.2% | 12 | 100.0% |
| →TPHA法 | 8 | (72.7%) | 6 | (50.0%) |
| →TPPA法 | 1 | (9.1%) | 2 | (16.7%) |
| →TPLA法 | 2 | (18.2%) | 2 | (16.7%) |
| →TPIC法 | 0 | (0.0%) | 2 | (16.7%) |
| →FTA-ABS法 | 1 | (9.1%) | 0 | (0.0%) |
| →不明 | 1 | (9.1%) | 0 | (0.0%) |

⑤ 梅毒検査の実施状況について、教えてください。

(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)

| | 2017 | n=11 | 2018 | n=12 |
|-----------|------|-------|------|-------|
| 通常検査のみで実施 | 6 | 54.5% | 5 | 41.7% |
| 即日検査のみで実施 | 5 | 45.5% | 6 | 50.0% |
| 両方実施 | 0 | 0.0% | 1 | 8.3% |

特設検査相談施設における梅毒検査体制に関する調査（平成 29-30 年）

(2018年のみ)

| ■検査方法 | 通常検査 (6件) | | 即日検査 (7件) | |
|---------------------------------|-----------|-------|-----------|--------|
| ① STS法のみ | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| ② STS法とTP抗体検査を同時実施 | 2 | 33.3% | 2 | 28.6% |
| ③ STS法で陽性の場合、TP抗体検査を追加実施 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| ④ TP抗体検査で陽性の場合、STS法を追加実施 | 3 | 50.0% | 1 | 14.3% |
| ⑤ TP抗体検査で陽性の場合、STS法・TP抗体検査を追加実施 | 1 | 16.7% | 0 | 0.0% |
| ⑥ 抗体検査のみ | | | 3 | 42.9% |
| ⑥ その他 | 0 | 0.0% | 1 | 14.3% |
| ■結果返却のタイミング | | | | |
| 即日 | 0 | 0.0% | 7 | 100.0% |
| 1週間後まで | 4 | 66.7% | 0 | 0.0% |
| 1週から2週まで | 2 | 33.3% | 0 | 0.0% |

(2) 検査実績に関するご質問

① 1年間(1-12月)の梅毒検査数・陽性数を教えてください。

| | 2017 | 2018 | 昨年比 |
|-------------|--------|--------|--------|
| ◆検査実施施設数 | 11 | 12 | 109.1% |
| ◆梅毒検査数(全体) | 12,611 | 24,436 | 193.8% |
| うちSTS法検査数 | 9,220 | 5,917 | 64.2% |
| うちTP抗体検査検査数 | 5,548 | 19,484 | 351.2% |
| ◆陽性数(全体) | 671 | 724 | 107.9% |
| うち STS法陽性数 | 566 | 320 | 56.5% |
| うちTP抗体検査陽性数 | 661 | 973 | 147.2% |
| ◆陽性率(全体) | 5.3% | 3.0% | 56.6% |
| うち STS法陽性率 | 6.1% | 5.4% | 88.5% |
| うちTP抗体検査陽性率 | 11.9% | 5.0% | 42.0% |

② 梅毒検査が陽性だった場合の対応について、当てはまるもの全てに○を付けてください。(複数回答可)

| | 2017 n=11 | | 2018 n=12 | |
|------------|-----------|-------|-----------|-------|
| 結果説明 | 0 | 0.0% | 9 | 75.0% |
| 受診勧奨 | 8 | 72.7% | 10 | 83.3% |
| パートナーの検査勧奨 | 0 | 0.0% | 7 | 58.3% |
| 医療機関紹介 | 5 | 45.5% | 5 | 41.7% |
| 紹介状を発行 | 2 | 18.2% | 4 | 33.3% |
| その他 | 4 | 36.4% | 5 | 41.7% |

③ 陽性結果の説明・相談について、追加の資料を使用していますか。(2018年のみ)

| | | |
|-------------|----|--------|
| 使用していない | 0 | 0.0% |
| 使用している | 12 | 100.0% |
| →自施設で作成した資料 | 8 | 66.7% |
| →他施設が作成した資料 | 5 | 41.7% |
| 県・市作成資料 | 2 | 16.7% |

保健所における梅毒検査体制に関する調査（平成29-30年）

1. (1) 貴保健所では梅毒検査を実施していますか？

| | 2017 | n=490 | 2018 | n=477 |
|---------|------|-------|------|-------|
| 実施している | 393件 | 80.2% | 414件 | 86.8% |
| 実施していない | 73件 | 14.9% | 42件 | 8.8% |
| 実施の予定 | 26件 | 5.3% | 21件 | 4.4% |

「梅毒検査を行っている」と答えた保健所のみ

(1) 検査体制に関するご質問

① 梅毒検査について、検査費用の自己負担はありますか。

| | 2017 | | n=393 | | 2018 | | n=414 | |
|-----------------|----------|---------|--------|---------|------|---------|-------|--|
| | HIV検査と同時 | | 梅毒検査のみ | | | | | |
| ある（有料） | 11 | 2.8% | 55 | 14.0% | 40 | 9.7% | | |
| 金額→500円以下 | 2 | (18.2%) | 4 | (7.3%) | 6 | (11.1%) | | |
| 500～1000円未満 | 4 | (36.4%) | 18 | (32.7%) | 22 | (40.7%) | | |
| 1,000円～2,000円未満 | 5 | (45.5%) | 32 | (58.2%) | 25 | (46.3%) | | |
| ない（無料） | 193 | 49.1% | 198 | 50.4% | 354 | 85.5% | | |
| 条件により有料 | - | - | - | - | 19 | 4.6% | | |
| 未記入 | - | - | - | - | 1 | 0.2% | | |

② 梅毒検査単独でも検査を受けることができますか。

| | 2017 | n=393 | 2018 | n=414 |
|------------------|------|-------|------|-------|
| 梅毒検査単独でも受けられる | 253 | 64.4% | 254 | 61.4% |
| HIV検査と一緒にのみ受けられる | 204 | 51.9% | 157 | 37.9% |

③ 梅毒検査に関する説明・相談に、何らかの資料を使用していますか。

| | 2017 | 2018 | n=414 |
|-------------|------|------|---------|
| 使用していない | | 64 | 15.5% |
| →必要ない | | 11 | (17.2%) |
| →適当な資料がない | | 42 | (65.6%) |
| 使用している | | 344 | 83.1% |
| →自施設で作成した資料 | | 118 | (34.3%) |
| →他施設が作成した資料 | | 154 | (44.8%) |
| 県・市作成資料 | | 36 | (10.5%) |
| 市販パンフレット等 | | 53 | (15.4%) |

④ 貴保健所で実施している梅毒の検査法について、該当するものに丸を付けてください。

| | 2017 | n=393 | 2018 | n=414 |
|---------------------------------------|------|---------|------|---------|
| ■ 脂質(カルジオリピン)を抗原とする検査(STS法) | 354 | 90.1% | 359 | 86.7% |
| →RPRカードテスト | 277 | (78.2%) | 296 | (82.5%) |
| →自動化法 | 46 | (13.0%) | 43 | (12.0%) |
| →その他 | 31 | (8.8%) | 33 | (9.2%) |
| →不明 | | | 4 | (1.1%) |
| ■ <i>T. pallidum</i> を抗原とする検査(TP抗体検査) | 385 | 98.0% | 396 | 95.7% |
| →TPHA法 | 193 | (50.1%) | 181 | (45.7%) |
| →TPPA法 | 9 | (2.3%) | 22 | (5.6%) |
| →TPLA法 | 55 | (14.3%) | 64 | (16.2%) |
| →TPIC法 | 92 | (23.9%) | 107 | (27.0%) |
| →FTA-ABS法 | 19 | (4.9%) | 12 | (3.0%) |
| →その他 | 12 | (3.1%) | 70 | (17.7%) |
| →不明 | 5 | (1.3%) | 6 | (1.5%) |

⑤ 梅毒検査の実施状況について、教えてください。

(通常・即日共に実施している場合は両方の質問にご回答ください)

| | 2017 | n=393 | 2018 | n=414 |
|-----------|------|-------|------|-------|
| 通常検査のみで実施 | 300 | 76.3% | 284 | 68.6% |
| 即日検査のみで実施 | 74 | 18.8% | 91 | 22.0% |
| 両方実施 | 16 | 4.1% | 39 | 9.4% |

保健所における梅毒検査体制に関する調査（平成29-30年）

(2018年のみ)

| ■検査方法 | 通常検査（323件） | | 即日検査（130件） | |
|---------------------------------|------------|-------|------------|-------|
| ① STS法のみ | 2 | 0.6% | 7 | 5.4% |
| ② STS法とTP抗体検査を同時実施 | 257 | 79.6% | 68 | 52.3% |
| ③ STS法で陽性の場合、TP抗体検査を追加実施 | 20 | 6.2% | 10 | 7.7% |
| ④ TP抗体検査で陽性の場合、STS法を追加実施 | 2 | 0.6% | 6 | 4.6% |
| ⑤ TP抗体検査で陽性の場合、STS法・TP抗体検査を追加実施 | 17 | 5.3% | 4 | 3.1% |
| TP抗体検査のみ | | | 27 | 20.8% |
| ⑥ その他 | 23 | 7.1% | 8 | 6.2% |
| ■結果返却のタイミング | | | | |
| 即日 | 7 | 2.2% | 116 | 89.2% |
| 1週間後まで | 211 | 65.3% | 5 | 3.8% |
| 1週から2週まで | 102 | 31.6% | 5 | 3.8% |

(2) 検査実績に関するご質問

① 1年間(1-12月)の梅毒検査数・陽性数を教えて下さい。

| | 2017 | 2018 | 昨年比 |
|-------------|--------|--------|--------|
| ◆検査実施保健所数 | 393 | 414 | 105.3% |
| ◆梅毒検査数(全体) | 59,104 | 64,965 | 109.9% |
| うちSTS法検査数 | 47,968 | 48,077 | 100.2% |
| うちTP抗体検査検査数 | 45,109 | 48,708 | 108.0% |
| ◆陽性数(全体) | 1,151 | 1,435 | 124.7% |
| うち STS法陽性数 | 639 | 752 | 117.7% |
| うちTP抗体検査陽性数 | 1,211 | 1,494 | 123.4% |
| ◆陽性率(全体) | 1.9% | 2.2% | 113.3% |
| うち STS法陽性率 | 1.3% | 1.6% | 117.8% |
| うちTP抗体検査陽性率 | 2.7% | 3.1% | 114.4% |

② 梅毒検査が陽性だった場合の対応について、当てはまるもの全てに○を付けてください。(複数回答可)

| | 2017 n=393 | | 2018 n=414 | |
|------------|------------|-------|------------|-------|
| 結果説明 | 41 | 10.4% | 384 | 92.8% |
| 受診勧奨 | 327 | 83.2% | 387 | 93.5% |
| パートナーの検査勧奨 | - | - | 308 | 74.4% |
| 医療機関紹介 | 228 | 58.0% | 269 | 65.0% |
| 紹介状を発行 | 181 | 46.1% | 223 | 53.9% |
| その他 | 20 | 5.1% | 17 | 4.1% |

③ 陽性結果の説明・相談について、追加の資料を使用していますか。(2018年のみ)

| | | | |
|--------------|-----|---------|---------|
| 使用していない | 158 | 38.2% | (n=158) |
| → 必要ない | 34 | (21.5%) | |
| → 適当な資料がない | 104 | (65.8%) | |
| 使用している | 235 | 56.8% | (n=235) |
| → 自施設で作成した資料 | 86 | (36.6%) | |
| → 他施設が作成した資料 | 110 | (46.8%) | |
| → 県・市作成資料 | 35 | (14.9%) | |
| 市販パンフレット等 | 49 | (20.9%) | |